

学校防災マニュアル

(危機管理マニュアル)

令和 6 年度版

高知県立高知小津高等学校

危機管理マニュアル目次

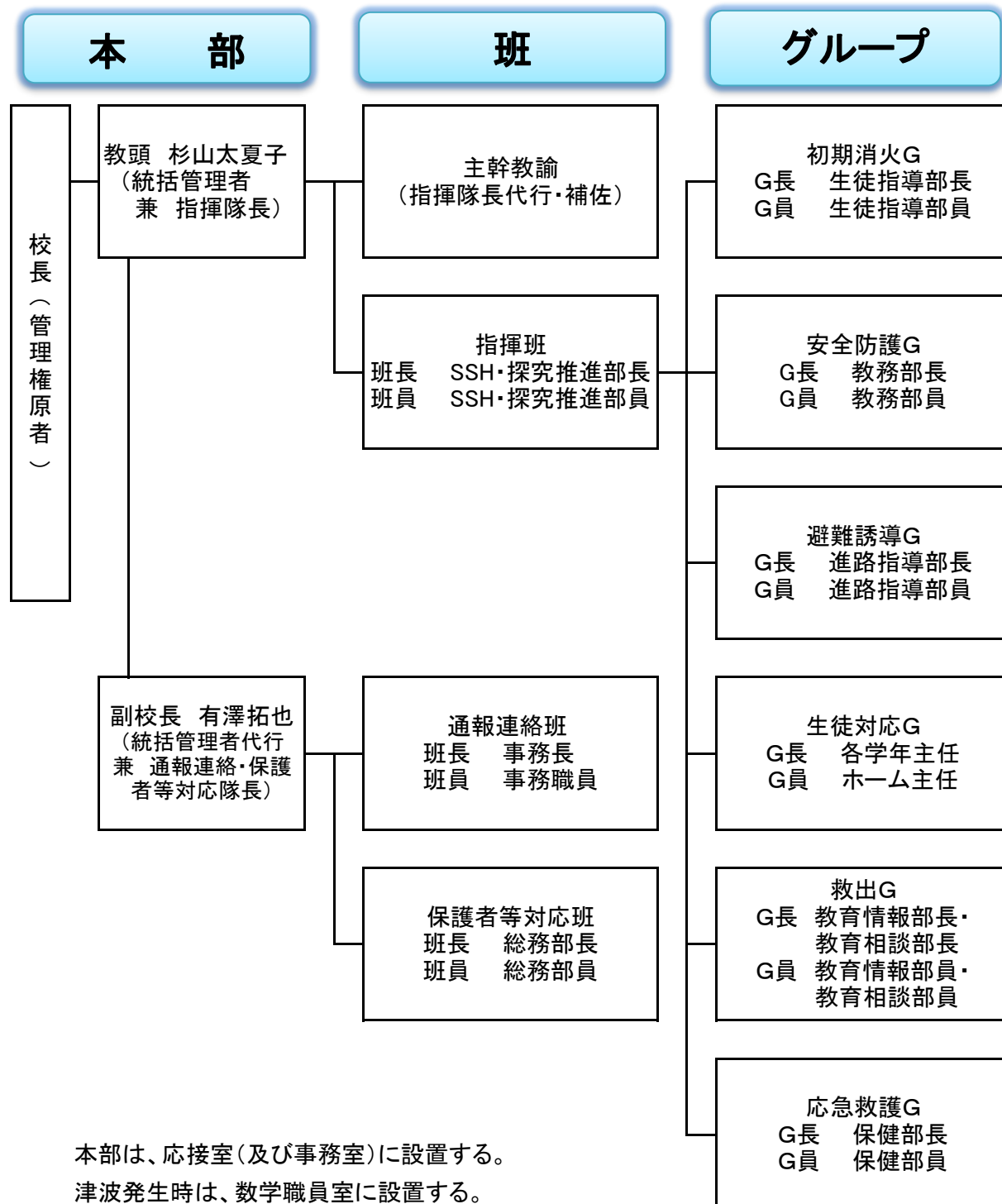
I	高知小津高等学校自衛消防組織	
1	設置目的	1
2	自衛消防組織の編成図	1
3	自衛消防組織の編成と任務	2
4	令和6年度自衛消防組織班割り及び災害時の指揮順位	3
II	高知小津高等学校地震対策本部	4
III	地震発生時の対応	
1	地震発生時の緊急体制	5
2	地震発生時の緊急体制役割	6
3	在校中の地震発生時の対応	7
4	地震で津波と火災が同時に発生した場合の対応	8
5	校外での活動中の地震発生時の対応	9
6	休業日の部活動中の地震発生時の対応	10
7	休業日の補習・模試中の地震発生時の対応	11
8	生徒が登下校中の対応	12
9	夜間等の生徒・教職員が在宅中に地震が発生した場合の対応	13
10	地震発生時における場所別の指示と生徒等の行動	14
11	地震発生時避難経路	15
12	地震発生時の保護者等への連絡手段	16
IV	地震後の対応	
1	教職員の対応	17
2	生徒の保護者等への引き渡し	18
3	生徒の心のケアについて①	19
4	生徒の心のケアについて②	20
5	避難所としての学校等の対応	21
6	自衛消防組織の地震後の任務	22
V	火災発生時の対応	
1	火災発生時の緊急体制	24
2	火災発生時の緊急体制役割	25
3	火災発生時避難経路（グラウンドへ）	26
4	火災発生時避難経路（体育館へ）	27
VI	その他の緊急体制	
1	平日の緊急体制	28
2	休日の緊急体制	30
3	不審者侵入防止の3段階チェック体制	32
4	不審者侵入時の緊急体制	33
VII	その他	
1	緊急連絡先一覧表	36
2	備蓄品等	37
3	救命処置	39
4	令和6年度消火設備等配置図	40
5	地震発生時の地区別生徒安否確認割振・参集時間・学校以外の参集場所	42
6	生徒安否確認表	44

I 高知小津高等学校自衛消防組織

1 設置目的

自衛消防組織は、火災や地震の発生時に対し、その事前対応や発生時における初動対応、発見・通報連絡、初期消火、避難誘導、救出救護活動などを自主的に行うために組織する。

2 自衛消防組織の編成図



3 高知小津高等学校自衛消防組織の編成と任務(任務表)

①本部 <津波発生時:数学職員室(東館4階)、火災発生時:応接室(西館1階)>

教頭	統括管理者 兼 指揮隊長
副校長	統括管理者代行 兼 通報連絡・保護者等対応隊長★

②各班

班	災害発生時の任務	構成員	集合場所	人数
主幹教諭	指揮隊長代行・補佐		本部	1人
指揮班	1 被害状況の把握と対処方法の検討 2 全校への避難指示と負傷者の救助指示 3 トランシーバー(12個)を配付 4 各Gへ行動指示を出す	班長 SSH・探究推進部長★ 班員 SSH・探究推進部員	本部 津波:東4階 火災:西1階	5人
通報連絡班	1 消防機関への通報 2 校内への非常放送 3 関係者への連絡(教育委員会等)	班長 事務長★ 班員 事務職員	本部	4人
保護者等 対応班	1 保護者等への連絡を担当する 2 避難時は、避難誘導Gとともに生徒の誘導にあたる 3 校外避難時、避難経路の安全確認にあたる	班長 総務部長★ 班員 総務部員	本部	5人

★はトランシーバー携帯者

③各グループ

グループ	災害発生時の任務	構成員	集合場所	人数
初期消火G	1 消火器等による初期消火 2 消防隊との連携及び補佐 3 初期消火後、本部の指示により 安全防護Gと救出Gの補助に回る	G長 生徒指導部長★ G員 生徒指導部員	生徒指導室 東3階	7人
安全防護G	1 火災発生場所へ直行し、防火扉等の閉鎖 2 電気・ガス等の安全処置 3 エレベーターの非常時の処置	G長 教務部長★ G員 教務部員	教務職員室 西2階	5人
避難誘導G	1 出火時等における生徒の誘導 2 生徒誘導後は、安全防護Gと 救出Gに協力して活動する	G長 進路指導部長★ G員 進路指導部員	進路指導室 西5階	4人
生徒対応G	1 担当ホームの人員点呼をとり、負傷者等の報告を学年主任にする 2 生徒が混乱しないよう指導する	G長 各学年主任★★★ G員 ホーム主任 (重複する場合は優先する)	生徒避難 場所	24人
救出G	1 校内を巡回し、未避難者・要救助者の救出をする	G長 教育情報部長・ 教育相談部長★ G員 教育情報部員・ 教育相談部員	教育相談室 西4階	8人
応急救護G	1 応急救護所を設置し、負傷者に対する応急処置をする	G長 保健部長★ G員 保健部員	保健室 西1階	4人

★はトランシーバー携帯者

4 令和6年度自衛消防組織班割り及び災害時の指揮順位

No.	職	氏 名	自衛消防組織班・G	勤務時間指揮順位	勤務時間外指揮順位	No.	職	氏 名	自衛消防組織班・G	勤務時間指揮順位	勤務時間外指揮順位
1	校長	竹崎 実	管理権原者	1	1	47	〃	三宮 奈三	救出		
2	副校長	有澤 拓也	総括管理者 代行	3	3	48	〃	中越 和奈	生徒		
3	教 頭	杉山 太夏子	総括管理者	2	2	49	〃	中野 亜紀	生徒		
4	事務長	植田 千鶴	通報	4	4	50	〃	久武 郁	生徒		
5	主幹教諭	チャンド 葉子	指揮隊長 代行・補佐	5	5	51	〃	山崎 功子	指揮	6	10
6	教 諭	池内 えみり	応急			52	〃	秋元 杏理	初期消火		
7	〃	乾 鈴子	保護者			53	〃	井上 知佳			
8	〃	大黒 華	生徒			54	〃	梅下 佳裕	応急		
9	〃	岡田 里加	生徒			55	〃	大崎 祥弘	初期消火		
10	〃	尾崎 美佳	生徒			56	〃	寺尾 拓	保護者		
11	〃	濱渦 一正	安全			57	〃	土居内 厚志	生徒		
12	〃	濱田 宏美				58	〃	横江 忠彦	初期消火		
13	〃	堀内 美千子	避難誘導			59	〃	米澤 友樹生	初期消火	8	8
14	〃	松本 玲子	救出			60	〃	植田 葉子	生徒		
15	〃	植村 敦至	保護者	7	9	61	〃	朝倉 希代子	救出	12	12
16	〃	梅原 智也	初期消火			62	〃	寺峰 あゆ子	生徒		
17	〃	中内 貢	生徒			63	〃	楠川 裕子	生徒		
18	〃	森内 恭平	救出			64	養 諭	甲藤 有美	応急		
19	〃	山下 聖	安全			65	実 助	松井 弓佳	指揮		
20	〃	山中 靖	保護者			66	実 助	山本 史子	救出		
21	〃	山本 泰生	指揮			67	A L T	Craig Watson			
22	〃	池田 数人	救出	11	7	68	任期付 教員	三好 留美子	指揮		
23	〃	石丸 滉貴	生徒			69	期 講	森澤 樹紀	保護者		
24	〃	大崎 悠	生徒			70	〃	村田 玲	初期消火		
25	〃	門田 賢拓	生徒			71	〃	國則 美恵子	避難誘導		
26	〃	白石 陽子	生徒			72	〃	足達 瑤咲	初期消火		
27	〃	筒井 孝昌	安全	10	6	73	〃	荒井 茉奈	避難誘導		
28	〃	西森 靖芳	生徒			74	主 幹	中山 奈美	通報		
29	〃	森田 育未	生徒			75	主 査	岡田 あかね	通報		
30	〃	和田 智有	安全			76	主 事	岩田 一輝	通報		
31	〃	岩原 朋史	生徒			自衛消防組織活動班・グループ 指揮…指揮班 保護者…保護者等対応班 避難誘導…避難誘導G 生徒…生徒対応G 応急…応急救護G 通報…通報連絡班 初期消火…初期消火G 安全…安全防護G 救出…救出G					
32	〃	上田 史絵	生徒								
33	〃	笹岡 愛	生徒								
34	〃	竹島 洋文	救出								
35	〃	西村 芳江	生徒								
36	〃	野並 邦充	指揮								
37	〃	羽方 さおり	安産								
38	〃	廣田 秋俊									
39	〃	山中 寿紀	生徒			休業日の参集体制 有事の際には、教職員は学校に参集することが原則であるが、大地震の際には、地盤沈下や津波の影響もあり、学校から遠い教職員は学校に参集できないことも想定される。					
40	〃	米村 佐智子	生徒								
41	〃	和田 真由美	避難誘導	9	13						
42	〃	有藤 晴菜									
43	〃	北村 美和									
44	〃	黒石 恵美	応急	13	11						
45	〃	近藤 結衣	生徒								
46	〃	澤松 千佐	救出								

Ⅱ 高知小津高等学校地震対策本部

1 設置目的

地震災害は同時多発し、その活動は長い時間と多くの人の協力が必要となることから、学校が一体となって人命の安全と被害の軽減および復旧対策等を行うために、「地震対策本部」を設置する。

2 設置時期

地震が発生した場合に応じて設置する(震度5強程度を目安とする)。

3 活動内容

地震対策本部は、被害状況の把握、自衛消防活動の支援、応急対策の決定、復旧計画の策定等、地震災害全般にわたって決定する。

4 組織及び任務

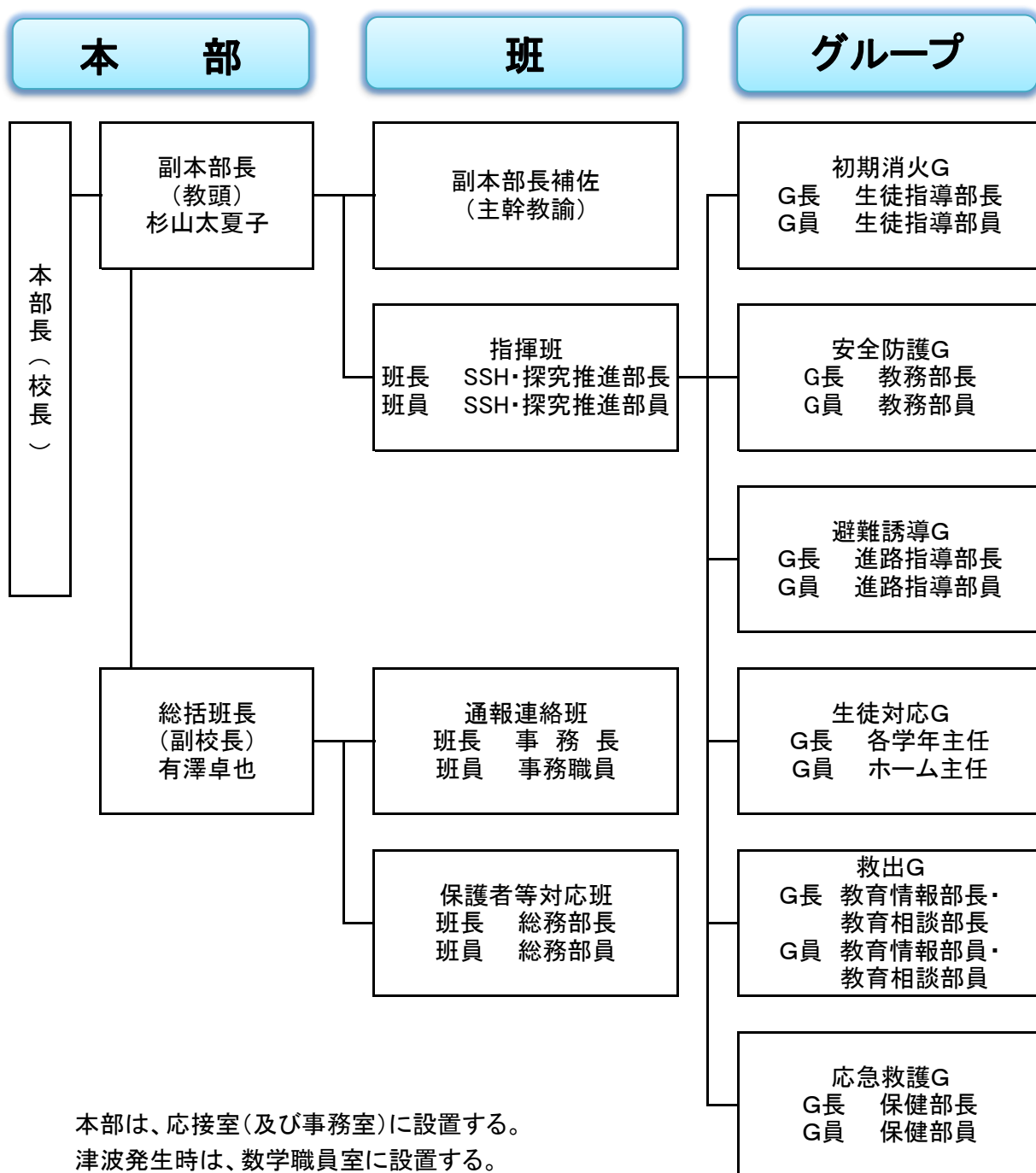
(1) 本部長は校長、副本部長は教頭 杉山太夏子(防火防災管理者)、総括班長は副校長 有澤拓也とする。

(2) 本部長は、地震災害活動の最高責任者として自衛消防組織の行う活動を統括する。

(3) 副本部長と総括班長は、本部長を補佐し、自衛消防組織の円滑な活動について支援する。

5 対策本部の設置場所

本部長が指定した場所に設置する。



Ⅲ 地震発生時の対応

◆学校の立地状況と被害想定

・立地状況

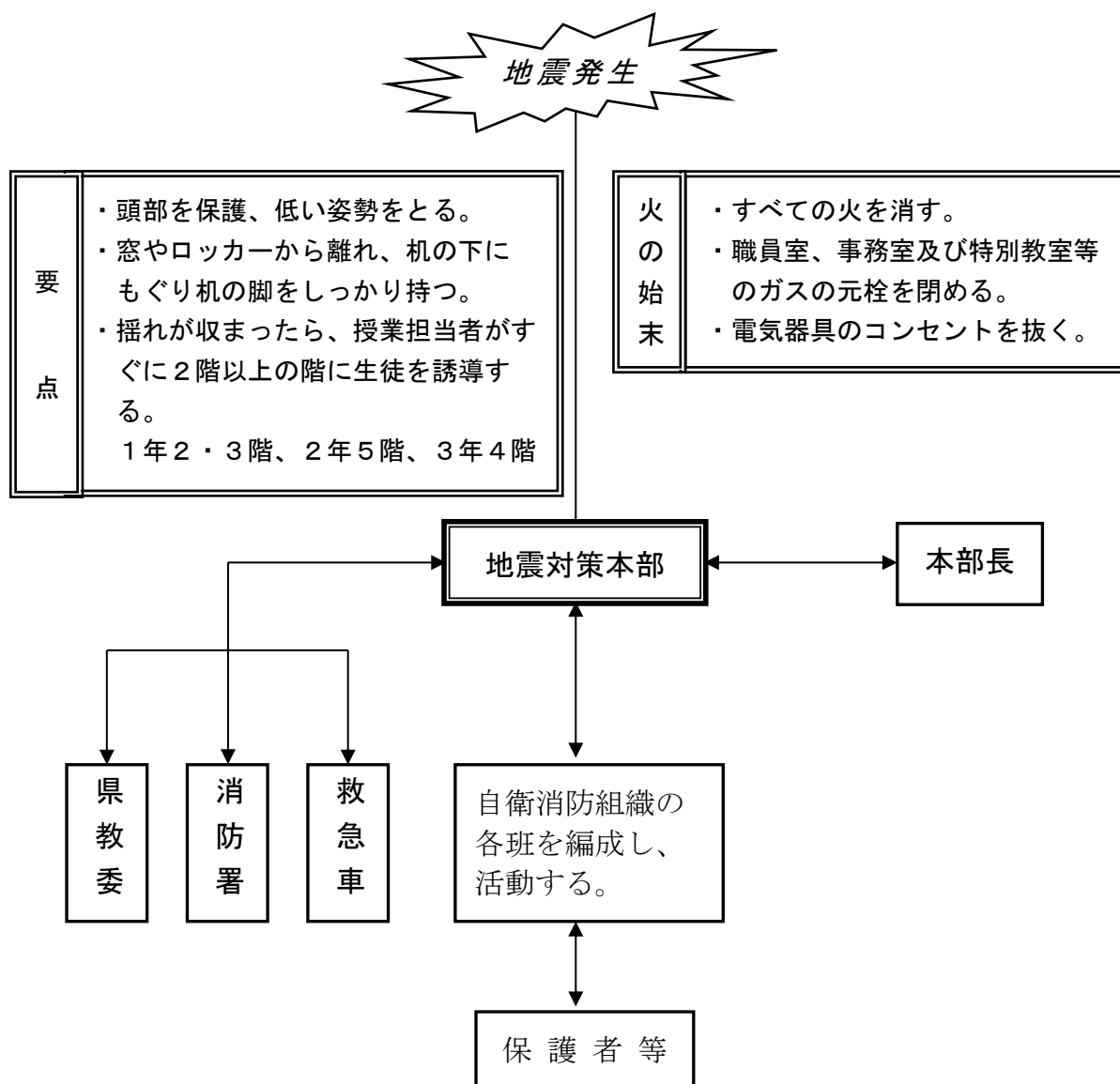
標高：3.0 m 浦戸湾入口からの距離：約 8.5 km

・被害想定

津波浸水予測：0.3 ～ 1.0 m 津波到達予測時間：60 分以上

最大震度：6強 揺れの継続時間：3分

1 地震発生時の緊急体制



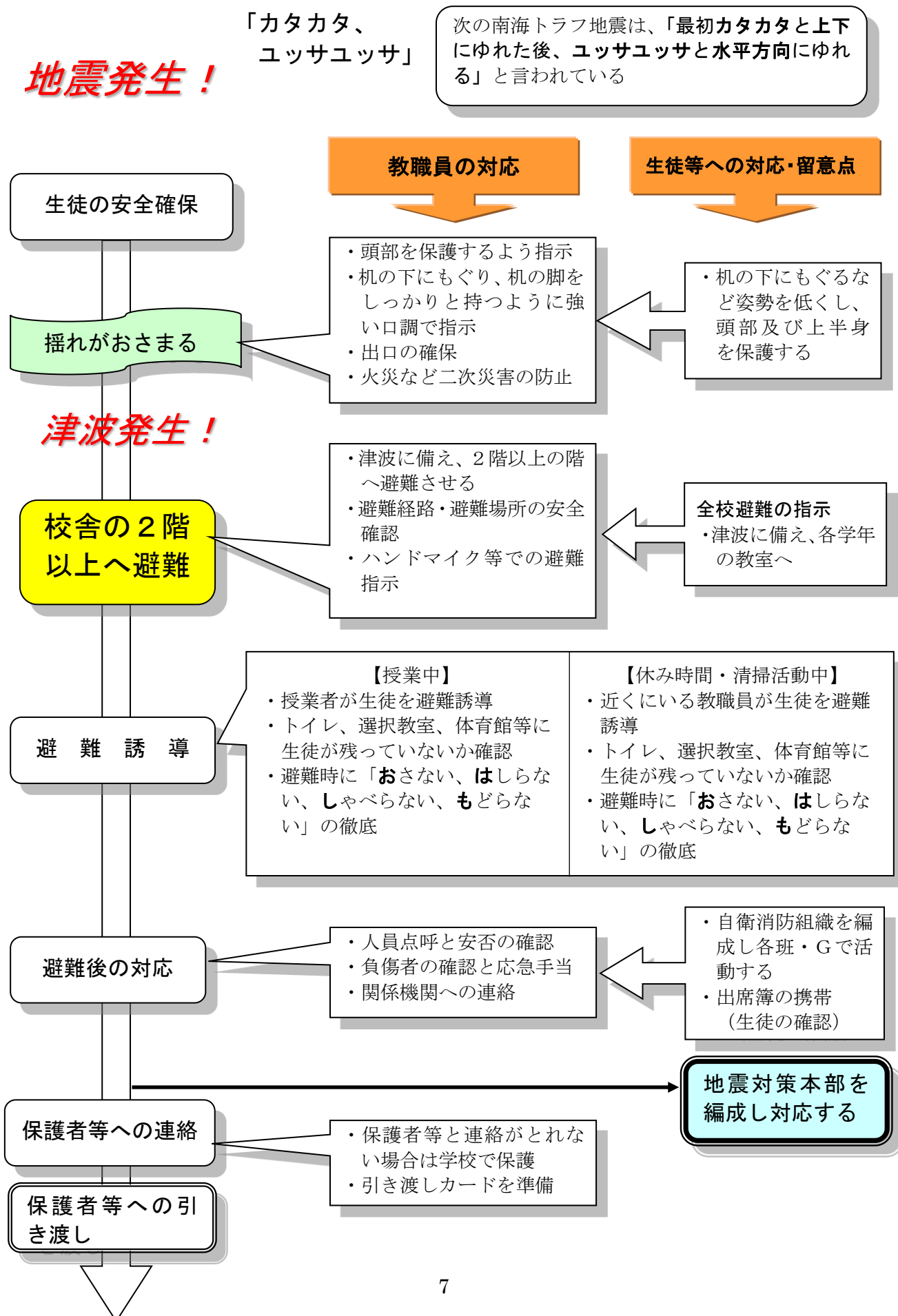
☆ 震度5強以上の場合は、地震対策本部を設置し活動する。

2 地震発生時の緊急体制役割

校長及び管理職 (対策本部)	1 自衛消防組織を組織し、生徒、教職員及び施設等の被害状況を正確に把握して、負傷者の救護及び避難の実施方法を決定する。 2 揺れが収まり、避難経路及び避難場所の安全性が確認できた後、生徒及び教職員に避難の指示を行う。 3 可能ならば救急車を要請する。 4 情報収集（二次災害の情報収集） テレビやラジオ等で地域全体の被害状況等を把握する。 5 被害状況を踏まえ、必要ならば「地震対策本部」を設置する。 6 教育委員会に報告し、必要な場合は支援要請を行う。
授業担当教員	1 生徒の不安を増大させないよう適切な指示を出す。 2 生徒の安全を確保し、生徒を2階以上の教室に誘導する（避難誘導） 〔押さない、走らない、しゃべらない、戻らない、荷物を持たない 等〕 3 生徒の負傷の有無、負傷の程度、避難時の安全性を確認する。 (教室及び教室近辺の被害状況、転倒・落下の危険性等) 4 自衛消防組織の活動に移る。
指揮班、初期消火G、誘導Gなどの自衛消防組織を編成し活動する	1 各班・Gの班長・G長は本部に集合し、指示を受ける。班員・G員は、各班・Gの集合場所に移動し、班長・G長の指示のもと行動する。 2 安全防護Gは、避難経路、避難場所の安全性、校舎の被害状況を確認して、本部に報告する。 3 初期消火Gは、消火器等を用い、初期消火に当たる。 4 避難誘導Gは、避難経路を確保し生徒の避難誘導に努める。 5 通報連絡班は、消防・県教委等の関係部署に連絡する。 6 救出Gは、各教室、体育館、トイレ等の残留生徒を救出する。 7 応急救護Gは、負傷者を手当てし、必要ならば病院に搬送する。 8 保護者等対応班は、生徒の保護者等に連絡する（搬送先病院名）。 9 指揮班は、各班・Gからの連絡をまとめ、本部で相談し的確な指示を各班・Gに出す。
ホーム主任 学年主任 (生徒対応G)	1 ホーム主任は、担当ホームの人員点呼をとり、負傷者及び行方不明者を学年主任に報告する。 2 学年主任は、担当学年の負傷者及び行方不明者を本部に報告する。



3 在校中の地震発生時の対応



4 地震で津波と火災が同時に発生した場合の対応

**地震発生！
火災発生！**

教職員の対応

生徒等への対応・留意点

安全確保

揺れがおさまる

グラウンドへ
一旦避難

- ・自衛消防組織の各班に分かれて活動を開始する

津波発生！

避難経路確認

小高坂山
または
高知城へ

- ・保護者等対応班が、小高坂山と高知城への避難経路を確認しに行く

避難場所での
情報の集約

- ・可能な限り校内を巡回しての生徒の安否確認
- ・避難を住民に呼びかける
- ・避難途中の危険場所を点検し注意する

地域住民に要救護者がいれば、一緒に避難する

保護者等への引き渡し

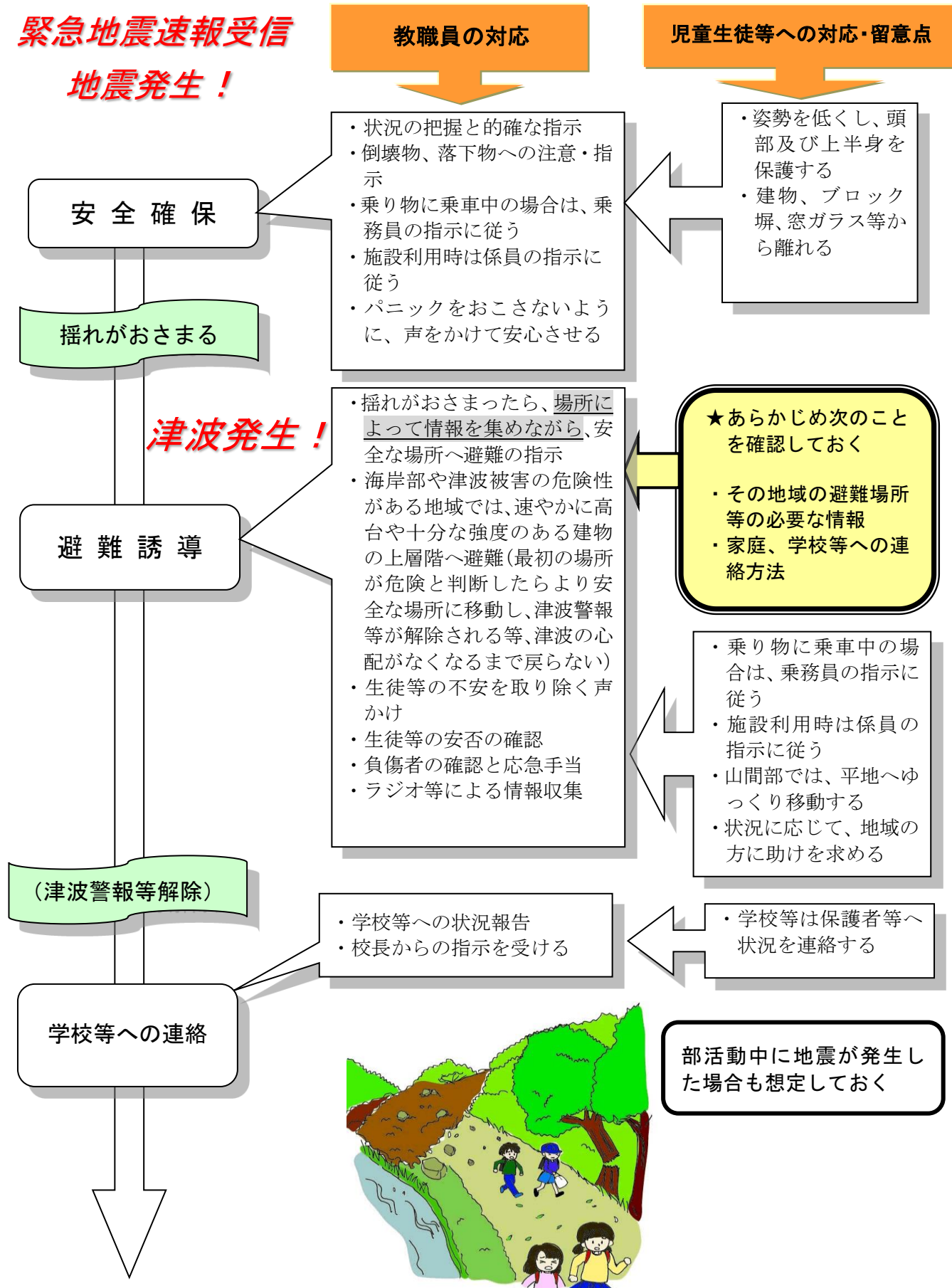
- ・避難した生徒の家庭への連絡
- ・家庭と連絡がとれない場合は学校で保護
- ・引き渡しカードを使用

関係機関への報告

- ・津波警報が出た場合、解除されるまで避難場所を動かない

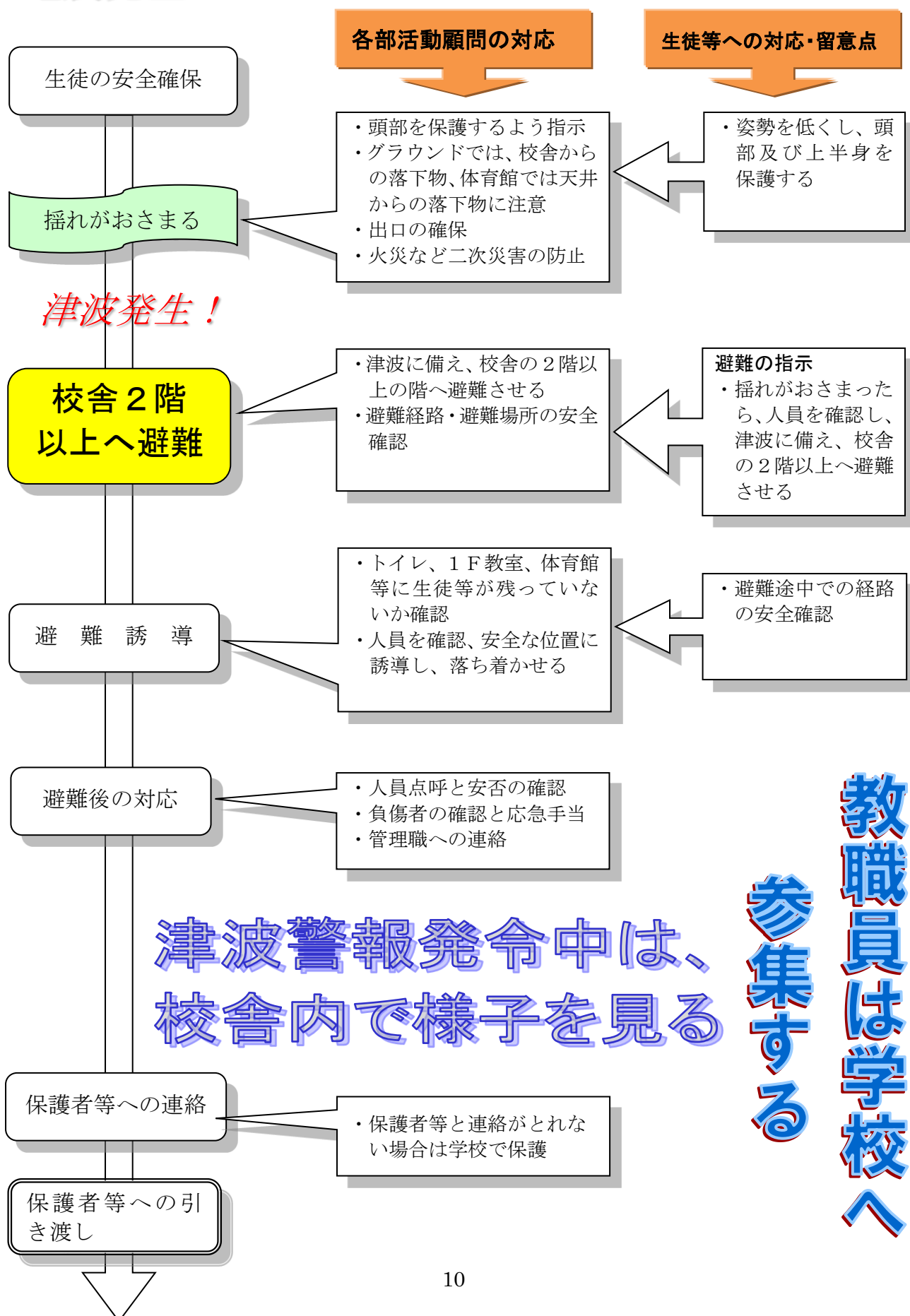
5 校外での活動中の地震発生時の対応

※教職員が引率し校外で活動している場合（遠足、部活動の大会、修学旅行など）



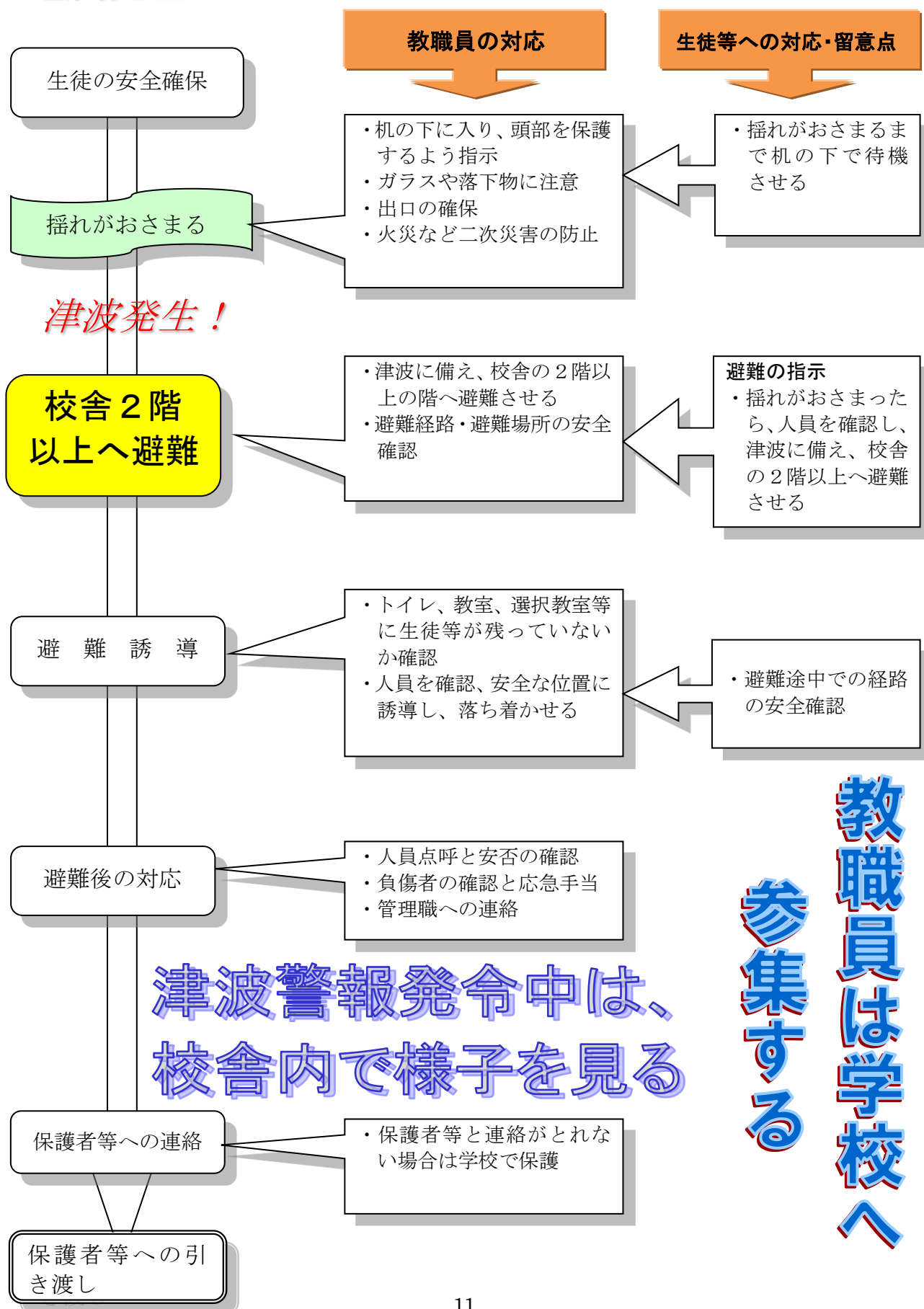
6 休業日の部活動中の地震発生時の対応

地震発生！

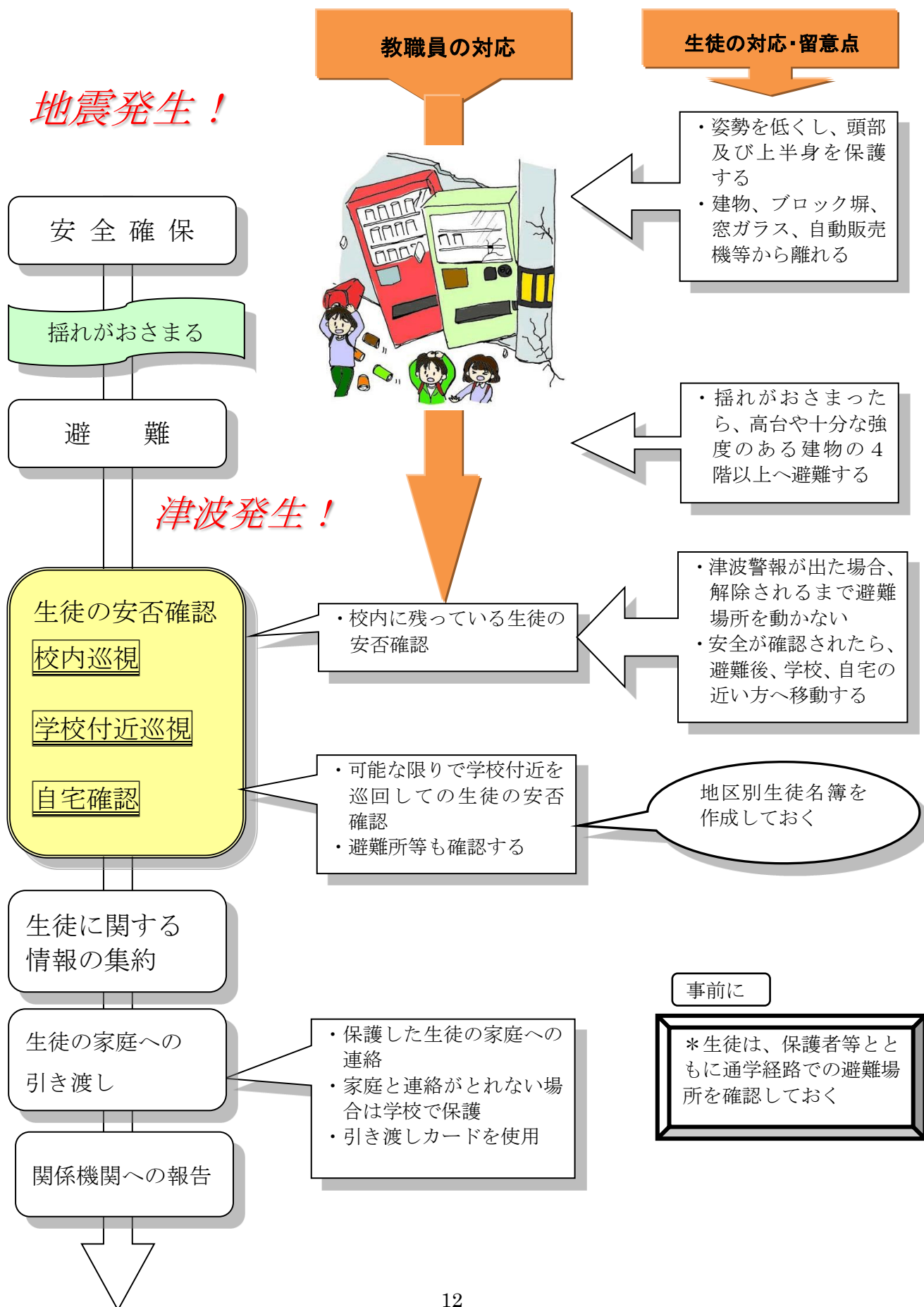


7 休業日の補習・模試中の地震発生時の対応

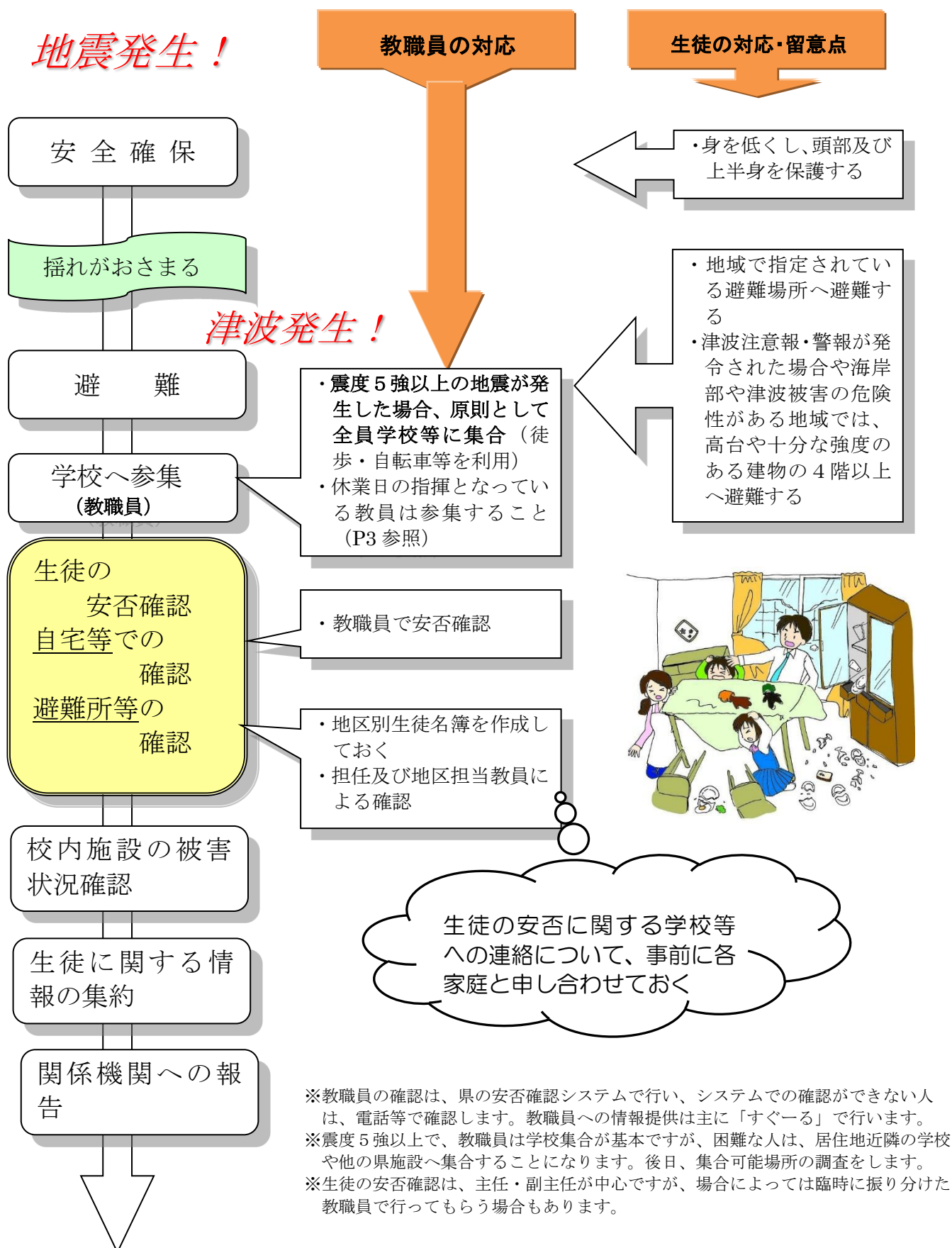
地震発生！



8 生徒が登下校中の対応



9 夜間等の生徒・教職員が在宅中に地震が発生した場合の対応



10 地震発生時における場所別の指示と生徒等の行動

場 所		教職員の指示	生徒等の行動
普通教室		「机の下にもぐりなさい」 「姿勢を低くして、机の脚をつかみなさい」	・机の下にもぐる等、身の安全を守る ・部屋の中央に集まり、姿勢を低くして頭部及び上半身を保護する
特別教室 (普通教室の指示に加えて)	理 科 室	「机の下にもぐりなさい」	・アルコールランプ等の火を消す ・机の下にもぐる等、身の安全を守る ・薬品・実験用品が入っている棚から離れる ・食器等が入っている棚から離れる ・ディスプレイ等の落下、飛び出しに注意する ・本棚から離れる 
	調 理 室	「棚から離れなさい」	
	音 楽 室	「ピアノから離れなさい」	
	コンピューター室	「本棚から離れなさい」	
	図 書 室 等	※ 火・湯・薬品等の危険な物のそばから離れる ※ 教室の状況に応じて具体的に指示をする	
体育館		「体育器具や窓ガラスから離れて中央に集まりなさい」	・天井や窓からの落下物、体育器具の転倒などに注意し、安全な場所に集まる
グラウンド		「校舎、フェンスや防球ネットなどから離れて、体を低くしなさい」	・窓ガラスの飛散や外壁の倒壊、フェンス等の転倒に注意する ・中央に集まり、体を低くする
プール		「プールの端に移動し、ふちをつかみなさい」	・プールの端に移動し、プールのふちをつかむ ・揺れがおさまったら、速やかにプールから出て、安全な場所に避難する
廊下・階段		「しゃがんで、頭を守りなさい」	・近くの教室に入り、机の下にもぐる

教職員の対応における留意事項

- ・ 的確な指示
- ・ 周囲の安全確認
- ・ 生徒の人員確認
- ・ 生徒への声かけ等での不安の除去
- ・ 余震・二次災害への対応

教職員と生徒が離れている場合の対応

(休み時間、放課後、部活動等)

- ・ 分散して、校舎内を巡回し、生徒の安全を確保する
- ・ 生徒等の人員を確認する
- ・ 本部の避難指示を受け、必要に応じて、生徒をより安全な場所へ誘導する
- ・ 負傷者がいる場合は、応急手当をする

日頃からテレビ、棚、書架、薬品庫等の転倒・落下防止、ガラスの飛散防止等、室内の安全対策について、可能な限り具体的な予防対策を講じておくことが大切です

1 1 地震発生時避難経路

1 階にいる場合は、揺れがおさまり次第、2 階以上の階へ避難する。

西 館 本

東 館 本

本館中央

15

6
階

5
階

4
階

3
陆

2 附

5
階

4
階

3
陸七

2
陆

1

The floor plan shows a school building with a central yellow cafeteria area. The cafeteria has seven tables labeled 1H through 7H. To the left of the cafeteria is a restroom (W C) and a convenience store (売店). Below the cafeteria is a kitchen (厨房). The building is surrounded by a fence, and there are trees and a road outside. A north arrow is located in the top right corner.

	P	W C	国 語 職員室	国 語 ゼミ教室		地歴公民 ゼミ教室	地歴・公民 職 員 室	ｸﾞﾗﾌﾞﾙ 室 3	ｸﾞﾗﾌﾞﾙ 室 4		
	D										
	E				ﾗｳﾝｼﾞﾝｸﾞ						
2-7 H		2-6 H		2-5 H		2-4 H		2-3 H		2-2 H	
2-1 H											

	P	W C	英 語 職員室	英 語 せ、教室	数 学 せ、教室	数 学 職員室	灯`イ 室 1	灯`イ 室 2					
	D												
	E												
	3-7 H	3-6 H	3-5 H	3-4 H	3-3 H	3-2 H	3-1 H						

	P	W C	小会議室	多目的教室Ⅱ		生徒指導職員室	生徒会室	器具倉庫	
	D				バルコニー				
	E				ラウンジ				

選択教室 3 3	1 - 7 H	1 - 6 H	1 - 4 H	1 - 4 H	選択教室 3 2	選択教室 3 1
----------	---------	---------	---------	---------	----------	----------

	P	W C		ラウンジ	多目的教室 I	器具		
	D					湯沸		
	E							

選択教室 2 3	1 - 3 H	1 - 2 H	1 - 1 H	選択教室 2 2	選択教室 2 1	
----------	---------	---------	---------	----------	----------	---

非常階段

消防用通路

ラウンジ

スロープ

階段

自転車置き場

ピロティ

生徒昇降口

[illegible][illegible][illegible]

	WC	地学職員室	企画・教務 職員室	印刷室	印刷 準備室				食 E
地学実驗室		標 本 室	理科講義室Ⅰ	生物実験室	器具庫	生物職員室			

[illegible]

--	--	--	--

渡り廊下

屋上

倉庫		倉庫

關成堂

休憩室			休憩室

[illegible]

校文員科主	備室
-------	----

--	--	--	--

文公主			文公主

生徒 生徒

非常階段

消防用通路

パイロティ

スロープ

生徒昇降口

W.C.

ラウンジ

P

D

E

1 2 地震発生時の保護者等への連絡手段

本校では、保護者等への連絡手段について下記のとおり行います。なお、可能な限り保護者等への電話も試みます。

① 緊急連絡掲示板

本校ホームページ(<https://www.kochinet.ed.jp/ozu-h/>)に緊急連絡掲示板を開設しており、情報を提供します。なお、携帯電話でもアクセスできます。

② 「ずーる」

メールアドレスを登録している保護者等に対して、情報を提供します。

③ 生徒連絡用 Google Workspace

「ずーる」に登録していない保護者等に対して、生徒を通じて情報を提供します。

④ N T Tの災害伝言ダイヤルの活用

N T Tの災害伝言ダイヤル「1 7 1」を利用して、学校の状況を知らせます。

保護者等の伝言ダイヤルの再生方法

ア 「1 7 1」をダイヤル

イ 「2」を押す。

ウ 学校の電話番号(0 8 8 - 8 2 2 - 5 2 7 0)をダイヤル

エ 3 0 秒間の伝言が流れます。

⑤ その他

公共放送やケーブルテレビ、ラジオなどへの安否情報連絡をします。

大規模地震発生時には、上記手段のすべてが活用できず、連絡できない場合も考えられます。

ご家庭におきましても、災害時にどのように行動するのか、どこに避難するのか、どこに集合するのか等あらかじめ話し合ってください。

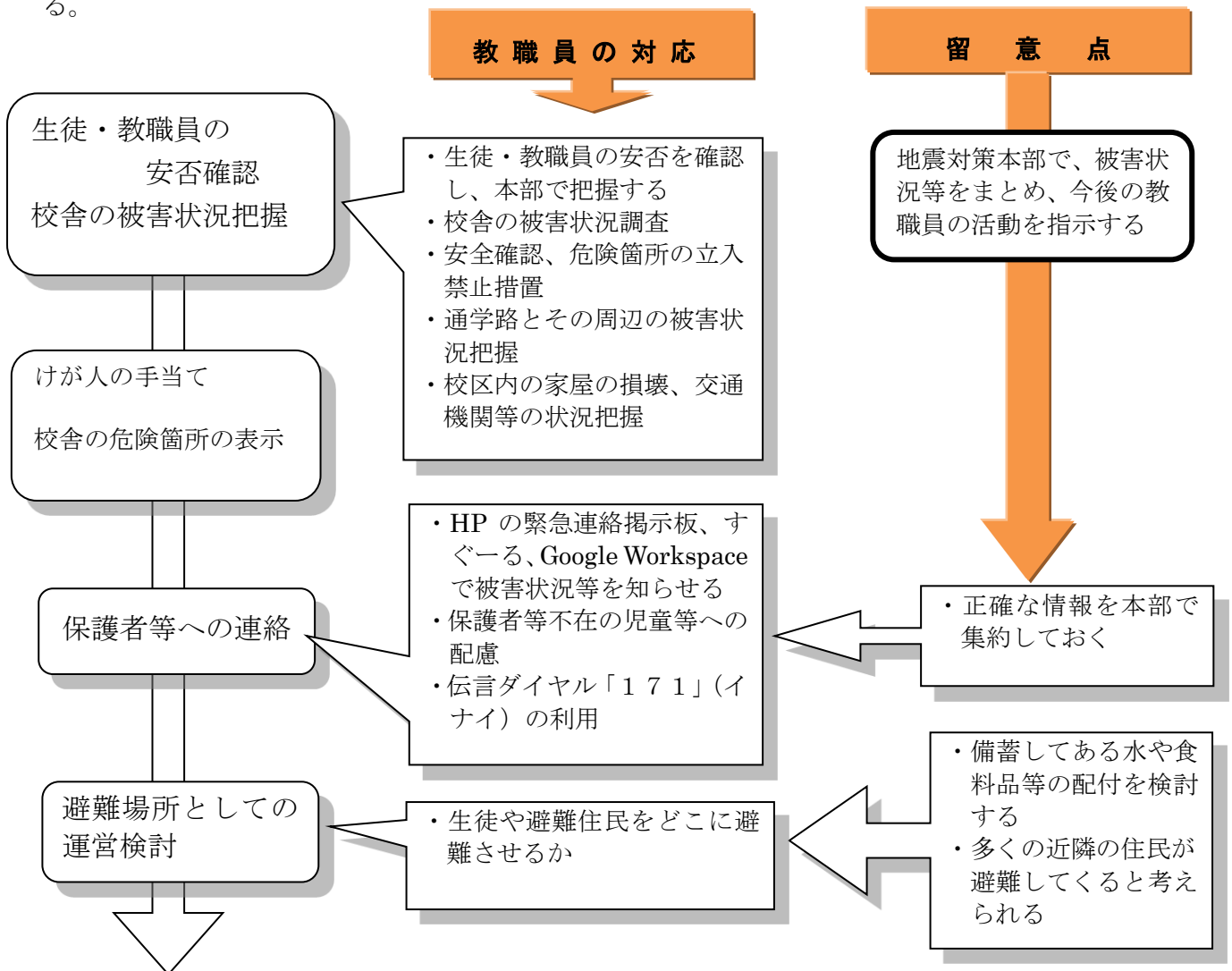


IV 地震後の対応

1 教職員の対応

地震対策本部を設置し、生徒・教職員の安否を確認し、校舎の被害状況を把握する。多くの避難住民が校舎内に避難してくるので、その対応にあたらなければならない。

また、学校は、教育活動の継続について、検討・決定し、学校機能の早期回復を図ることが求められる。



地震後の対応

多くの近隣の住民が避難してくるので、その対応をしなければならない。

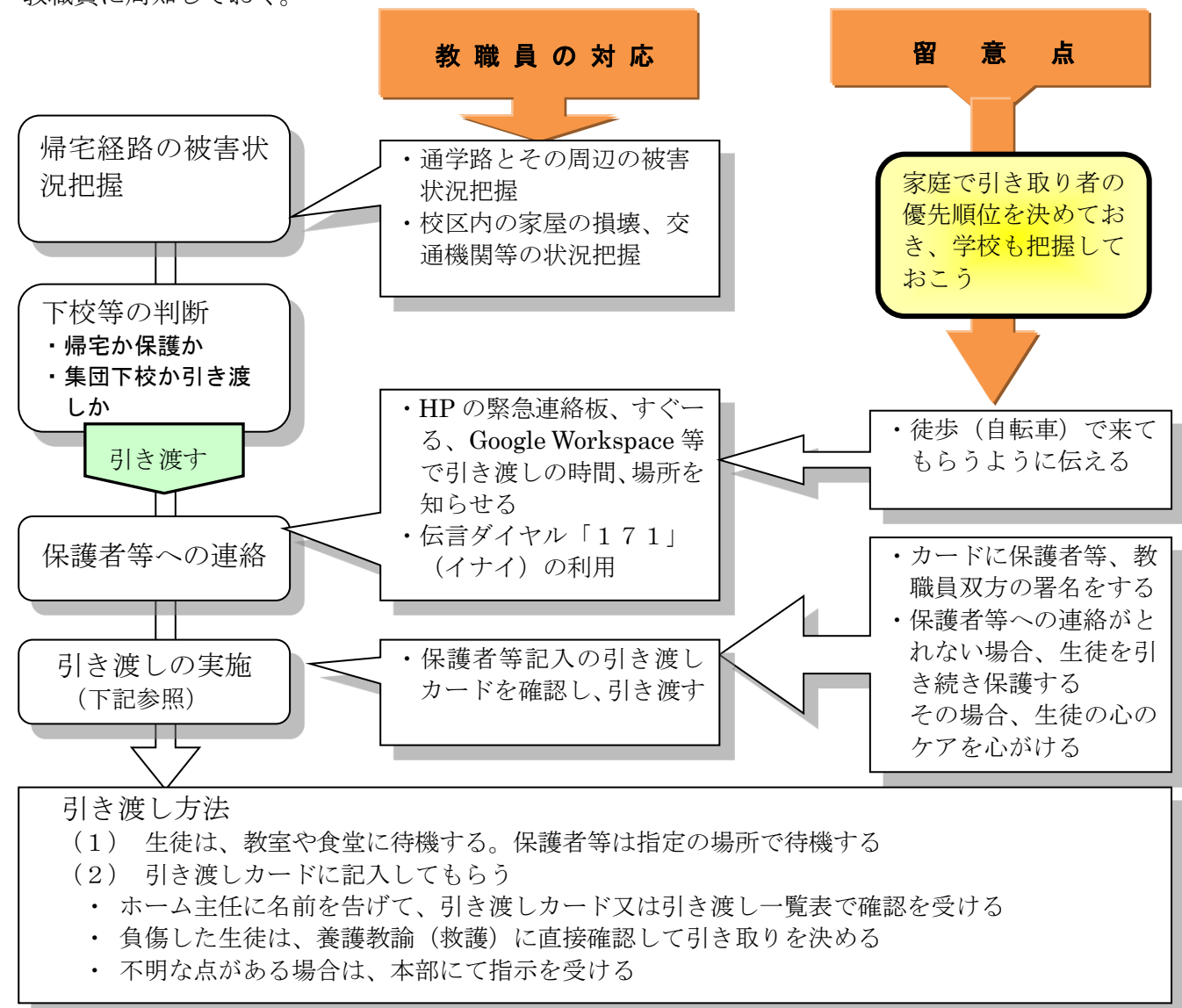
- ・生徒の待機場所を割り振り、保護者等への引き渡しを検討
- ・避難住民の人数やけが人の有無を調査し名簿作成
- ・水や食料品等の配付、簡易トイレの設置
- ・市の防災係りと連携し避難場所の運営に協力

教育活動継続の検討・決定

- ・臨時休業の措置（県教育委員会との協議、保護者等への連絡）
- ・学校教育再開に向けた対応（被害状況調査の実施、臨時登校日の検討）
- ・応急教育に係る計画作成（教育の場の確保、教育課程の再編成、教育活動再開時期の決定・連絡）
- ・被災生徒への支援（教科書・学用品の確保、就学機会の確保、心のケアの実施）

2 生徒の保護者等への引き渡し

緊急時に生徒の引き渡しを円滑に行うため、学校の実態に即した引き渡しの方法を、保護者等・教職員に周知しておく。



学年		H		氏 名		血液型	
住 所						地区名	
保 護 者 等 氏 名				生徒との関係		電話	()
緊急時の連絡先	電話 ()						
引 き 取 り 者				生徒との関係			
引 き 渡 し 日 時	月 日 時 分			教 職 員 名			
避 難 場 所				特 記 事 項			

3 生徒の心のケアについて ①

大災害や事故等で、肉親を失ったり家屋に被害を受けたりすると、生徒によっては、表面的には普通と変わりなく見えるが、心の奥深いところには、心的外傷の問題としてダメージが大きく残り、このことがその後の社会生活をしていくうえで心に様々な影響を及ぼすことがあります。

このため、生徒の心の傷を癒すには、必要に応じて、スクールカウンセラーや地域の専門機関（心の教育センター、医療機関）とも連携を図りながら、継続的、長期的な心のケアを行う必要があります。

地震発生！

肉親を失う・家屋に被害等

強いストレス（心の傷）

教職員の
生徒へのかかわり

教職員による
心のケア体制

被災後、強いストレスにさらされた生徒に、右のような反応が現れた場合は、

- 穏やかに子どものそばに寄り添う。
- 「大変な出来事の後には、このような状態になることはあるけれど、それは自然なことだよ」などと伝える。

PTSD (心的外傷後ストレス障害)

- ・災害の光景の夢を何回も見るとする
- ・恐ろしい体験に関係した事柄をさけようとする
- ・興味の減退、物忘れ、集中力の欠如等が起こる
- ・孤立傾向が強まり、神経質になる
- ・頭痛、腹痛、食欲不振等の生理的反応が生じる
- ・よく眠れない

学校は、被災した生徒の心身の健康状態を把握し、支援が必要な生徒に対する心のケア体制を確立する。

- ・生徒の健康状態に関する情報の把握・共有
- ・支援方針の検討
- ・スクールカウンセラーによる見立て
- ・外部の専門機関等との連携
- ・県教育委員会への支援要請

「けがはなかった？」
「だいじょうぶだよ」と心配していることを伝えることが大事。

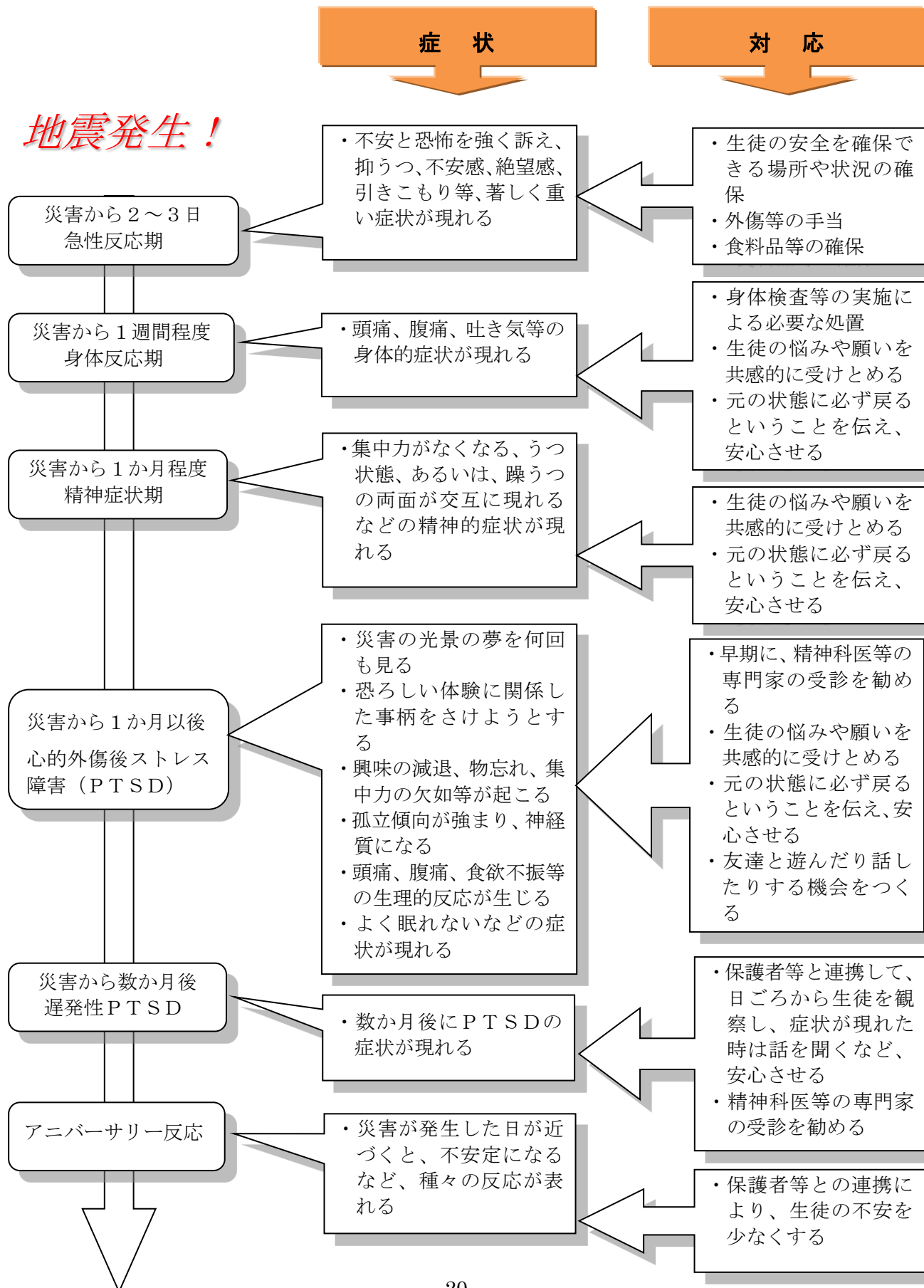


スクールカウンセラー・医師等の
専門家による心のケア

継続的・長期的ケア

4 生徒の心のケアについて②

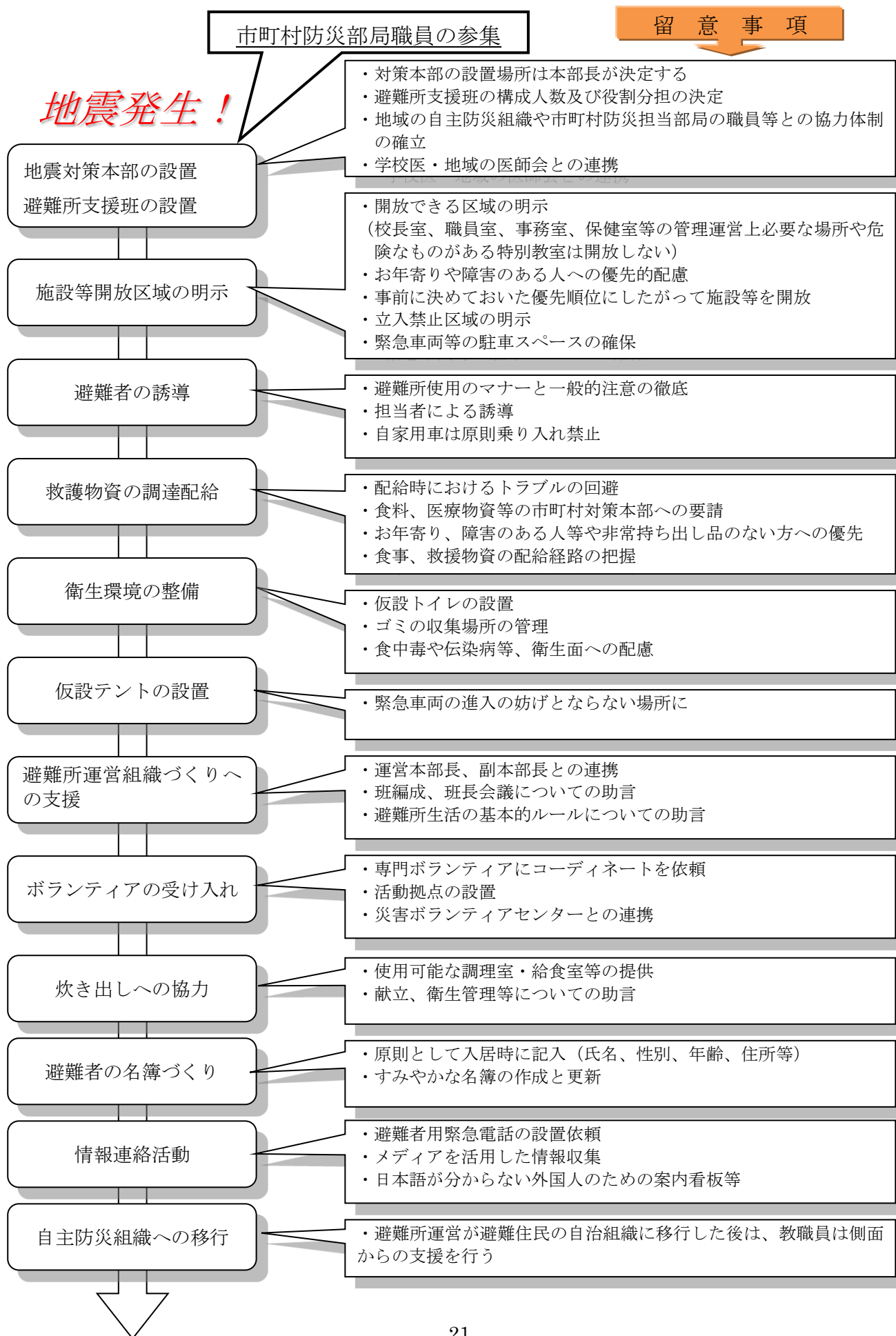
災害後、生徒に現れる可能性のある症状とその対応



5 避難所としての学校等の対応

本校の体育館は市の避難場所に指定されており、多くの近隣の方が避難してくると思われます。

※ 教職員は、生徒の対応を優先する。その後、地域の自主防災組織への協力を行う。



6 自衛消防組織(避難所支援班)の地震後の任務(任務表)

①各班

班	災害発生時の任務	構成員	集合場所	人数
指揮班	1 生徒と教職員の状況把握 2 施設開放区域の検討 3 避難所としての対応検討 4 授業再開への検討 5 関係機関からの情報入手	班長 SSH・探究推進部長 班員 SSH・探究推進部員	本部 津波:東4階 火災:西1階	5人
通報連絡班	1 外部からの問合せ対応 2 校舎の被害状況把握 3 関係者への連絡 (教育委員会等) 4 学校再開へ向け改修検討	班長 事務長 班員 事務職員	本部	4人
保護者等 対応班	1 生徒の保護者等への引渡し検討 2 保護者等の被害状況把握 3 避難場所の避難者確認	班長 総務部長 班員 総務部員	本部	5人

②各グループ

グループ	災害発生時の任務	構成員	集合場所	人数
初期消火G (設置・避難所支援)	1 避難所への協力 仮設トイレ設置、ごみ収集場所 テント設置等 (2 ペット小屋の設置)	G長 生徒指導部長 G員 生徒指導部員	生徒指導室 東3階	7人
避難誘導G (管理・誘導)	1 避難者の誘導 2 避難者の名簿作成 3 学校周辺の被害状況調査 (4 ペットの受入、名簿作成等)	G長 進路指導部長 G員 進路指導部員	進路指導室 西5階	4人
安全防護G (安全点検)	1 校舎の危険場所の把握と明示 2 危険箇所の応急処置・立入制限	G長 教務部長 G員 教務部員	教務職員室 西2階	5人
生徒対応G	1 生徒の状況把握 2 保護者等への引渡し 3 生徒のメンタルケア 4 備蓄品の生徒への配付	G長 各学年主任 G員 ホーム主任	生徒避難 場所	24人
救出G (物資) (要配慮者支援)	1 近隣被災者の救出活動 2 医薬品・食糧等の備蓄品の搬出 ・配付 3 炊き出しへの協力 4 救援物資の仕分け	G長 教育情報部長・ 教育相談部長 G員 教育情報部員・ 教育相談部員	教育相談室 西4階	8人
応急救護G (保健)	1 負傷者への対応 2 病院への搬送	G長 保健部長 G員 保健部員	保健室 西1階	4人

6 自衛消防組織の地震後の任務(任務表)

①本部

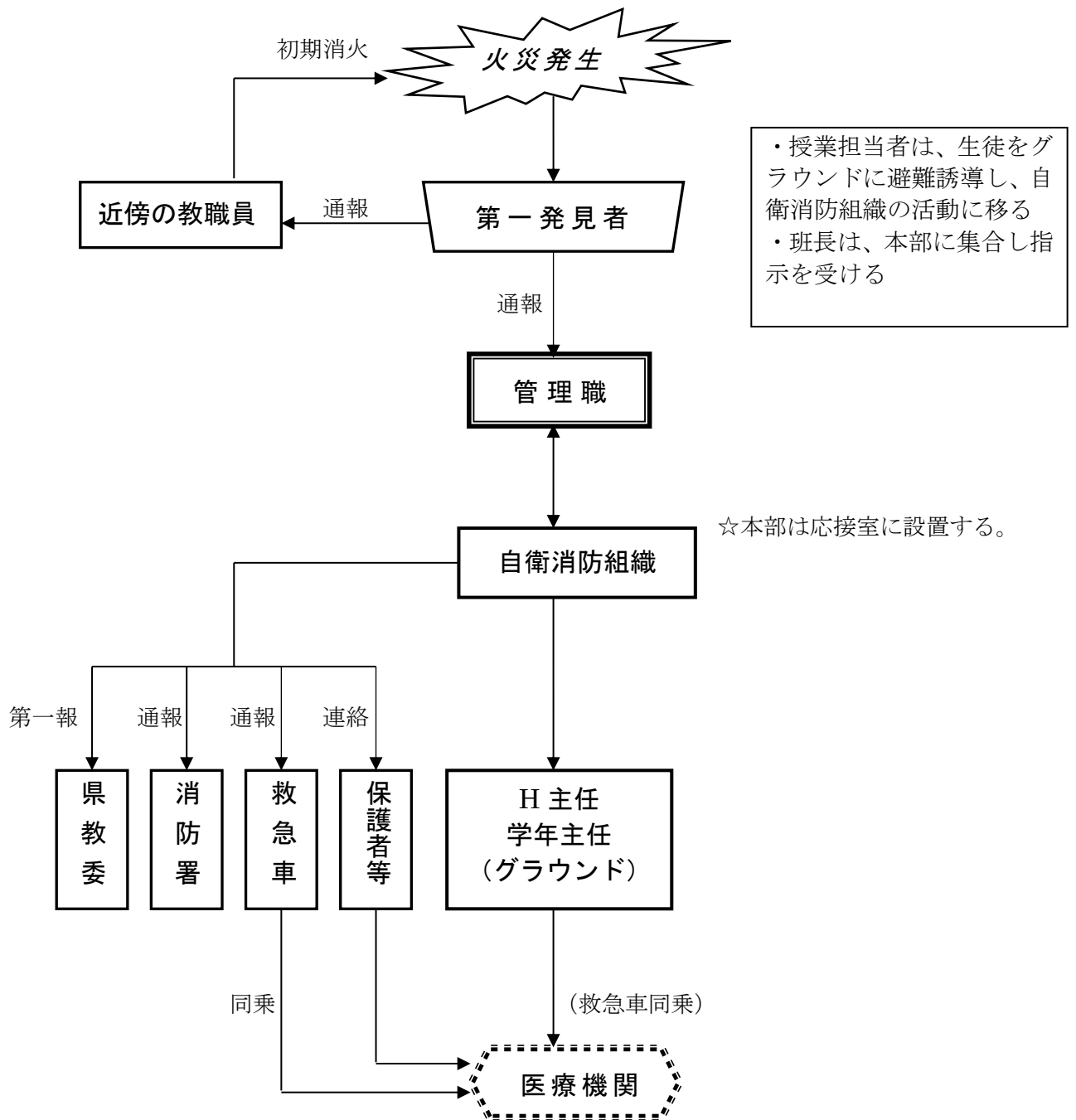
班	災害発生時の任務	構成員	集合場所	人数
指揮班	1 生徒と教職員の状況把握 2 施設開放区域の検討 3 避難所としての対応検討 4 授業再開への検討 5 関係機関からの情報入手	班長 SSH・探究推進部長 班員 SSH・探究推進部員	本部 津波:東4階 火災:西1階	5人
通報連絡班	1 外部からの問合せ対応 2 校舎の被害状況把握 3 関係者への連絡 (教育委員会等) 4 学校再開へ向け改修検討	班長 事務長 班員 事務職員	本部	4人
保護者等 対応班	1 生徒の保護者等への引渡し検討 2 保護者等の被害状況把握 3 避難場所の避難者確認	班長 総務部長 班員 総務部員	本部	5人

②各グループ

グループ	災害発生時の任務	構成員	集合場所	人数
初期消火G	1 避難所への協力 仮設トイレ設置、ごみ収集場所 テント設置等	G長 生徒指導部長 G員 生徒指導部員	生徒指導室 東3階	7人
避難誘導G	1 避難者の誘導 2 避難者の名簿作成 3 学校周辺の被害状況調査	G長 進路指導部長 G員 進路指導部員	進路指導室 西5階	4人
安全防護G	1 校舎の危険場所の把握と明示 2 危険箇所の応急処置・立入制限	G長 教務部長 G員 教務部員	教務職員室 西2階	5人
生徒対応G	1 生徒の状況把握 2 保護者等への引渡し 3 生徒のメンタルケア 4 備蓄品の生徒への配付	G長 各学年主任 G員 ホーム主任	生徒避難 場所	24人
救出G	1 近隣被災者の救出活動 2 医薬品・食糧等の備蓄品の搬出 ・配付 3 炊き出しに協力 4 救援物資の仕分け	G長 教育情報部長・ 教育相談部長 G員 教育情報部員・ 教育相談部員	教育相談室 西4階	8人
応急救護G	1 負傷者への対応 2 病院への搬送	G長 保健部長 G員 保健部員	保健室 西1階	4人

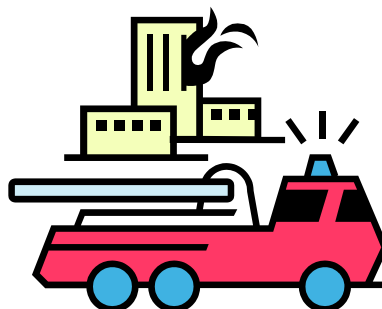
V 火災発生時の対応

1 火災発生時の緊急体制



2 火災発生時の緊急体制役割

校長及び管理職 (本部：指揮班、 通報連絡班、 保護者等対応班)	1 自衛消防組織を結成し、火災の発生場所、状況等を正確に把握し、安全な避難及び負傷者の救護等の実施方法を決定する。 2 校内放送を通じて、生徒及び教職員に適切な指示を行う。 3 消防署への正確な通報を行い、負傷者の状況により救急車の手配を依頼する。 4 近傍の教職員に初期消火を指示する。 5 生徒、教職員及び施設等の被害状況を把握する。 6 負傷生徒の保護者等への連絡をする。 7 教育委員会及び外部との対応。
授業担当教員 (生徒避難)	1 生徒をすぐにグラウンドに避難させる。 ・押さない、走らない、しゃべらない、戻らない、荷物を持たない 等 ・煙を吸い込まないように背を低くして避難 2 生徒の負傷の有無、負傷の程度、避難時の安全性を確認する。 ・教室及び教室近辺の被害状況、転倒・落下の危険性 等
授業外教職員	自衛消防組織の各班・Gの集合場所に集合し、班長の指示で行動する。
初期消火G	1 本部の指示により、迅速かつ的確な消火に努める。 2 消火器や屋内消火栓を用いて初期消火に当たる。 3 本部に火災の状況を連絡する。
ホーム主任 学年主任 (生徒対応G)	1 ホーム主任は、担当ホームの人員点呼をとり、負傷者及び行方不明者を学年主任に報告する。 2 学年主任は、担当学年の負傷者及び行方不明者を本部に報告する。
避難誘導G 安全防護G	1 生徒をグラウンドに避難誘導した後、校舎の見回りをする。 2 校舎の危険個所がないか確認し、逃げ遅れた者がいれば本部に連絡する。 3 行方不明者を搜索する。
救出G 応急救護G	1 負傷者を応急救護所に運び、応急手当を施す。 2 負傷者の状況を本部に連絡する。 3 救急車に同乗して医療機関に行く（搬送先病院名の連絡）。



3 火災発生時避難経路（グラウンドへ）

本館 東



芸術棟

グラウンド北側

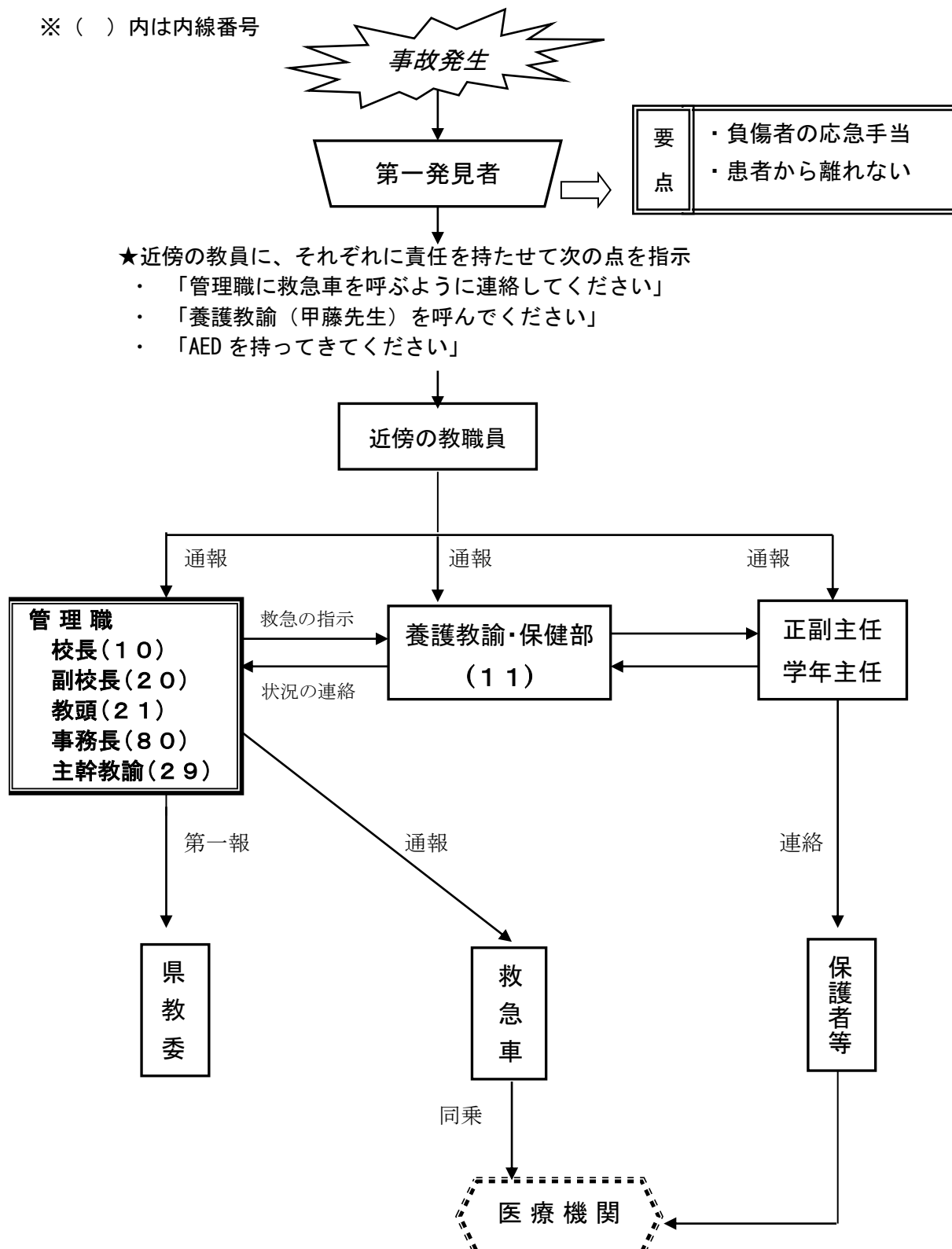
1年1H	1年2H	1年3H	1年4H	1年5H	1年6H	1年7H	2年1H	2年2H	2年3H	2年4H	2年5H	2年6H	2年7H	3年1H	3年2H	3年3H	3年4H	3年5H	3年6H	3年7H
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

- ・火災発生時は、グラウンドに速やかに避難し、ホーム別に集合する。
- ・ホーム主任は生徒の点呼をし、学年主任へ報告する。

VI その他の緊急体制

1 平日の緊急体制

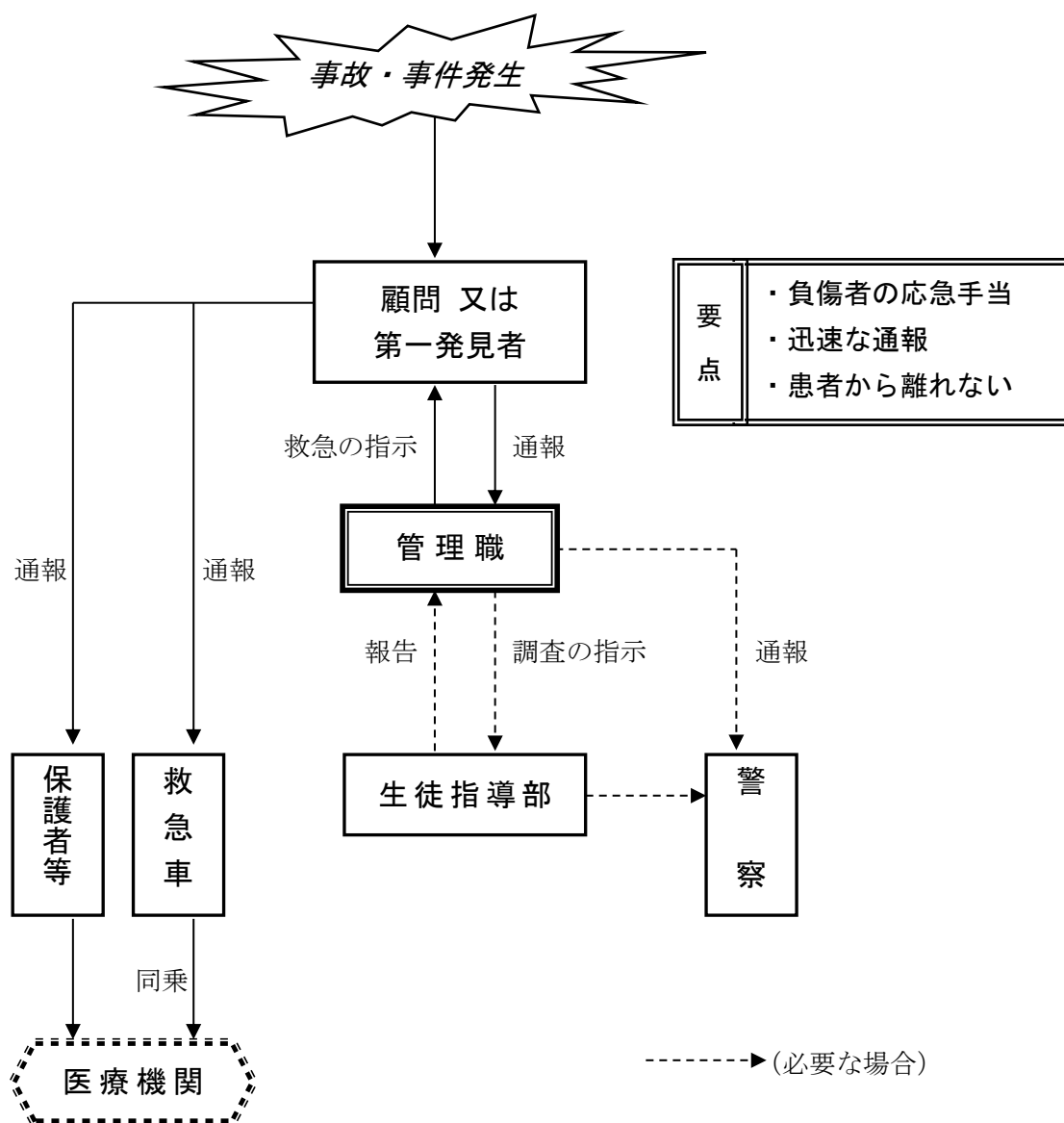
※（ ）内は内線番号



事故発生時（平日）の緊急体制役割

校長及び管理職	1 負傷の状況を正確に把握する。 2 救急活動の指示を行う。 3 保護者等への連絡を指示する。 4 県教委への連絡、事故の報告（必要な場合）をする。 5 校内での情報の共有化を図る。 6 事故の記録、整理をする。
第一発見者 近傍の教職員 （救護）	1 負傷者への応急手当を行う。 心肺蘇生法、大出血の手当 2 意識不明、出血多量、頭部・腹部打撲、顔面蒼白、非常な苦痛を訴える場合は動かさない。 3 管理職、正副主任、養護教諭、保健部へ迅速に通報する。 4 負傷者から離れない。
保健部 （応急処置）	1 負傷者への応急手当を行う。 心肺蘇生法、大出血の手当 2 意識不明、出血多量、頭部・腹部打撲、顔面蒼白、非常な苦痛を訴える場合は動かさない。 3 救急隊員との対応をする。 4 負傷の程度を管理職に連絡する。 5 救急車に同乗する。

2 休日の緊急体制



事故・事件発生時（休日の部活動等）の緊急体制役割

校長及び管理職	1 事故・事件の状況を正確に把握する。 2 救急活動の指示を行う。 3 保護者等への連絡を指示する。 4 警察への通報（必要な場合）をする。 5 県教委への連絡、事故の報告（必要な場合）をする。 6 校内での情報の共有化を図る。 7 事故の記録、整理をする。
顧問 第一発見者 （応急処置）	1 負傷者への応急手当を行う。 心肺蘇生法、大出血の手当 2 意識不明、出血多量、頭部・腹部打撲、顔面蒼白、非常な苦痛を訴える場合は動かさない。 3 近傍の教職員に応援を依頼する。 4 負傷者から離れない。 5 消防署への通報、救急車に同乗する。 6 管理職へ迅速に通報する。 7 保護者等に連絡する。
生徒指導部 （必要な場合）	1 学校長の指示を受け、警察との連絡、情報の収集に努める。 2 被害者及び関係者から状況の聴取を行う。

3 不審者侵入防止の3段階チェック体制

(1) 校門管理

- ・生徒・教職員、来校者・保護者等は、正門、東門、西門、北門を使って出入りする。
- ・来校者向けに、各門に「来校者の方は正門前玄関から入り事務室受付へおいでください」の案内を掲示する。

(2) 校舎入り口の管理

- ・来校者の校舎内への入校は正門前の玄関からのみとする。

(3) 来校者の管理

校長は、全教職員への指示・周知を通じて、下記の来校者対策を徹底し、不審者侵入に万全の対策を取るよう努める。

- ・事務室受付にて、一般来校者・保護者には受付票に記入を求める。
- ・一般来校者には名札を1人1つ配付し、首から下げるよう求める。
- ・教職員は、学校を管理する立場にあるという心構えをもって、来校者とすれ違った際には名札を確認し、積極的に挨拶・声掛けをするよう心がける。
- ・不審者と思われる人を見かけたときは、次ページの緊急体制に従って対応する。

4 不審者侵入時の緊急体制

(1) 来校者に関する安全規則について

＜校門：正門、東門、西門、北門1、北門2＞

- ・東門及び正門には、自家用車での来校者や自転車での来校者に対して、西門への誘導看板あり（西門を入るとすぐ、教職員用玄関がある）



東門



正門



＜校舎への入り口＞

- ・生徒用玄関及び教職員用玄関には、来客用玄関への誘導案内あり
- ・2、3年生用玄関には、防犯カメラの設置あり



1年生用玄関



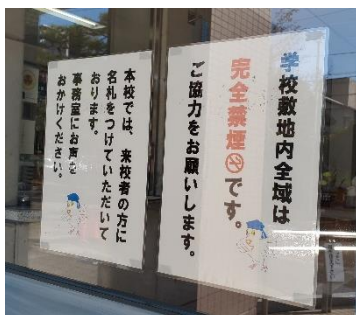
2年生用玄関



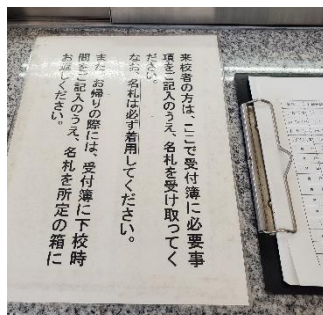
教職員用玄関

＜受付＞

- 来校者は、来校者用玄関を使用して入館。事務室で受付を行い、受付簿に氏名等を記載。校内においては名札を着用
- 教職員も、校内においては名札を着用



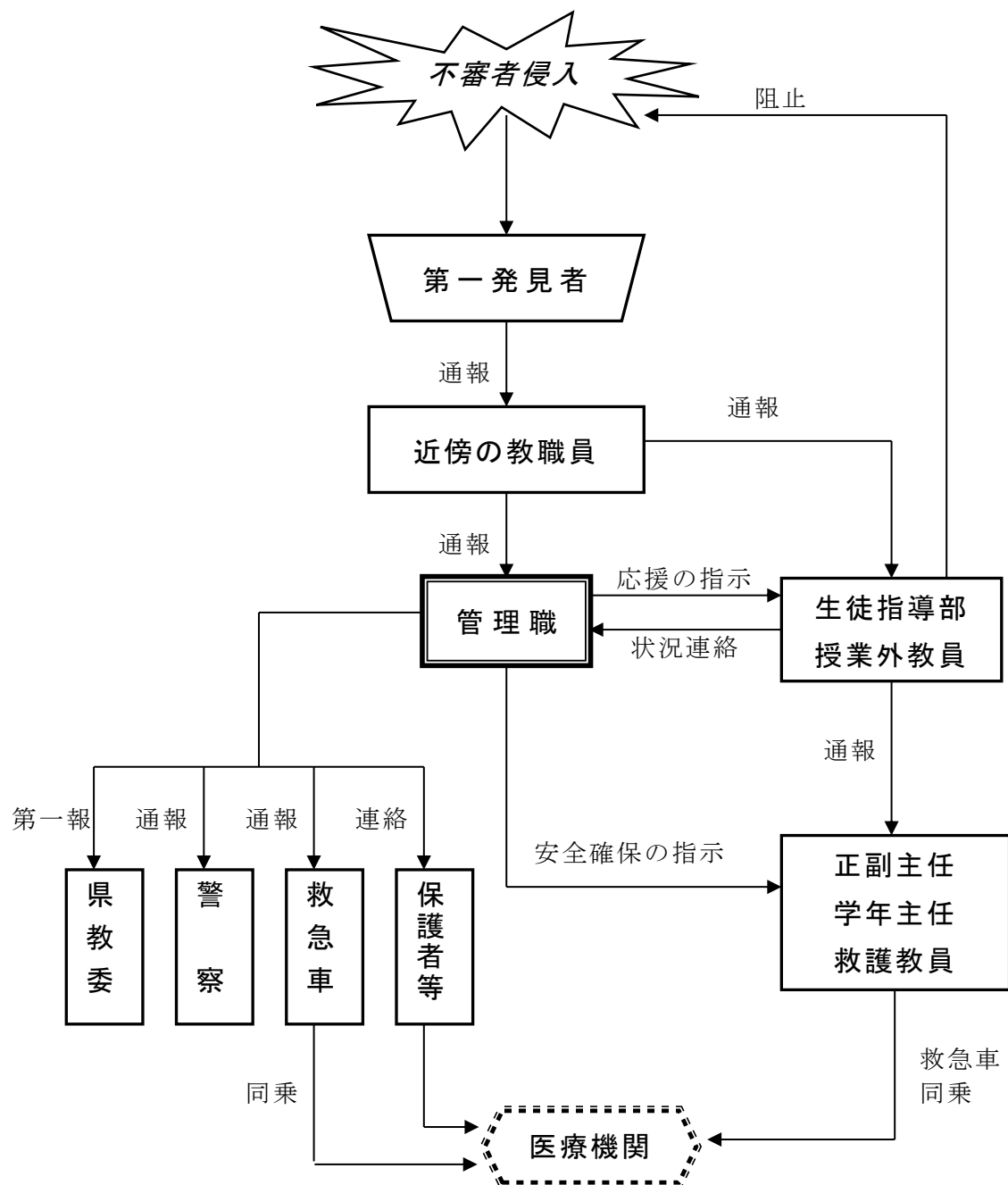
来校者用玄関の表示



事務室前の受付



(2) 不審者侵入時の緊急体制



不審者への初期対応のポイント

- ・ 名札を着用していない来校者に声をかける。
- ・ 生徒からできるだけ遠ざける。
- ・ 落ち着いて対応する。
- ・ 「校長室へどうぞ」
「こちらは教室ですので、校長室へご案内します」

不審者侵入時の緊急体制役割

校長及び管理職 (事件対策本部)	1 被害状況を踏まえ、必要な場合は「事件対策本部」を設置する。 2 状況を正確に把握し教職員の役割分担を決定する。 3 保護者等への対応をする。 4 今後の対応方針を決定する。 5 教職員における正確な情報の共有化を図る。 6 マスコミへの対応（窓口の一本化）をする。 7 事件の記録、整理及び報告を行う。
第一発見者 近傍の教職員 (安全確保)	1 その場を離れない。 2 不審者に冷静に対応する。 3 生徒の安全を確保する。 4 管理職及び他の教職員に通報する。 5 避難の指示をする。 6 生徒の不安を払拭する。
生徒指導部 他 (不審者対応)	1 複数で現場に向かい、即時対応する。 2 生徒の安全を確保する。 3 冷静沈着に、相手をいたずらに興奮させない。 4 行為を抑止し（可能な場合）、警察が来るまで時間を稼ぐ。 5 相手との間合いに注意し、自分の力を過信しない。 6 犯人に素手で組み付かない。 7 身近にあるもので役に立つものを活用する。 （椅子、机、消火器、モップ、ほうき等） 8 校内放送で緊急時の発生を知らせる。
授業担当教員 授業外教員 (避難誘導)	1 被害の拡大防止に努める。 2 指示された経路により生徒等の避難誘導を行う。 3 周囲の生徒等の避難誘導を行う。
ホーム主任 副 主 任 学年主任 (安否確認)	1 教職員及び生徒の被害状況を把握する。 2 救助を必要とする者を確認する。 3 校舎内の残留生徒を確認する。 4 保護者等に連絡する。
生徒指導部 他 (救出)	1 負傷者の状況を確認する。 2 負傷者を救出する。
保健部 (応急処置)	1 負傷者への応急手当を行う。 2 負傷の程度を管理職に連絡する。 3 救急車に同乗する。

VII その他

1 緊急連絡先一覧表

《連絡の要点》	① 学 校 名	高知県立高知小津高等学校
	② 学 校 所 在 地	高知市城北町1-14
	③ 学 校 電 話 番 号	088-822-5270
	④ 連 絡 者 氏 名	職〇〇、氏名△△△△
	⑤ 概 要 の 説 明	(要点を簡潔に)

機 関 名		電 話 番 号
警察署	緊急	110
	高知警察署	088-822-0110
消防署	緊急	119
	高知市北消防局中出張所	088-871-7515
高知県教育委員会 高等学校課		088-821-4851
高知県教育委員会 保健体育課		088-821-4751
田中整形外科病院		088-822-7660
近森病院		088-822-5231
救急医療情報センター		088-825-1299
学校管理医（細木病院）		088-822-7211



2 備蓄品等

L L 準備室 備蓄物資		R 6.3.31現在
商品	内容	数
懐中電灯		12個
ガスコンロ		28個
カセットボンベ	3本組	82組
乾電池	単 1 (10本入)	3箱
	単 2 (10本入)	3箱
	単 3 (100本入)	2箱
	単 4 (100本入)	2箱
軍手	12双	3袋
ゴミ袋	45 ℓ	7箱
	90 ℓ	2箱
充電器	U S B 充電器	4個
充電用ケーブル2種		各8個
消毒用空容器	アルボナース 500ml×20本付替用	3箱
スズランテープ	黄・緑・赤・青・ピンク・オレンジ	各5個
雑巾	45リットルゴミ袋	6袋
タオルペーパー	200枚入×49袋	10箱
	200枚入 30パック	1箱
つい立て	スクリーンつい立て3連	2組
使い捨て手袋	M 100枚入	20箱
	L 100枚入	10箱
ディスポガウン	10枚入	14箱
ディスポシート	10枚入×20袋	2箱
ディスポ枕カバー用	魚菜ロール 100枚巻	20本
トイレ	簡易組立便座 10個入	1箱
トイレットペーパー	100m巻60個入	50箱
発電機	ポータブル発電機 (カセットガス)	3台
歯ブラシ	イオン歯ブラシ1000本入	4箱
ポリガウン (未滅菌)	フリー 20枚入	3箱
マスク	感染対策マスク E 50枚入40個	2箱
	50枚入	1箱
	30枚入	6袋
	50枚入 40箱	7箱
	50枚入	6袋
	50枚入 60箱	1箱
	布マスク	35枚
湯沸 (やかん)	3 ℓ	3個
容器 (パルプモールド容器)	丸型どんぶり 50個×20	2箱
ライター		8本
ラジオ	ぐるぐるラジオトーチ	10個
ランタン	折りたたみランタン	10個
ローソク	24時間非常ローソク	36本
ワンセグTV		1個
その他、生徒・教職員用として3日分の水・アルファ米等をL L 準備室・地歴公民ゼミ室に保		

地歴公民ゼミ室 備蓄物資		R 6.3.31現在
商品	内容	数
カセットポンペ	3本組	20組
ガスコンロ		7個
乾電池	単 1 (10本入)	3箱
	単 2 (10本入)	3箱
	単 3 (100本入)	3箱
	単 4 (100本入)	3箱
軍手	12双	4袋
ゴミ袋	45 ℓ	10箱
	90 ℓ	5箱
スズランテープ	白・黄・緑・赤・青・ピンク・オレンジ	各5個
生理用ナプキン 普通	羽根付 22枚×2 18パック	9箱
生理用ナプキン 夜用	羽根付 10枚×2 18パック	5箱
使い捨て手袋	M 100枚入	1箱
トイレ	万能トイレセット (袋100枚、凝固剤100個、汚物用袋5枚、ひも5本)	1箱
	簡易組立便座 10個入	1箱
	非常用トイレ 30回分	6箱
トイレトペーパー	100m巻60個入	20箱
フリース毛布		6個
ヘルメット		5個
マスク	50枚入	1箱
水電池	単3 100本	1箱
湯沸 (やかん)	3 ℓ	3個
容器 (パルプモールド容器)	丸型どんぶり 50個×20	2箱
ライター		9本
ラジオ	ぐるぐるラジオトーチ	9個
ランタン	折りたたみランタン	10個
		3個
ローソク	24時間非常ローソク	38本
割りばし	5000膳	1箱
その他、生徒・教職員用として3日分の水・アルファ米等をL L 準備室・地歴公民ゼミ室に保管		

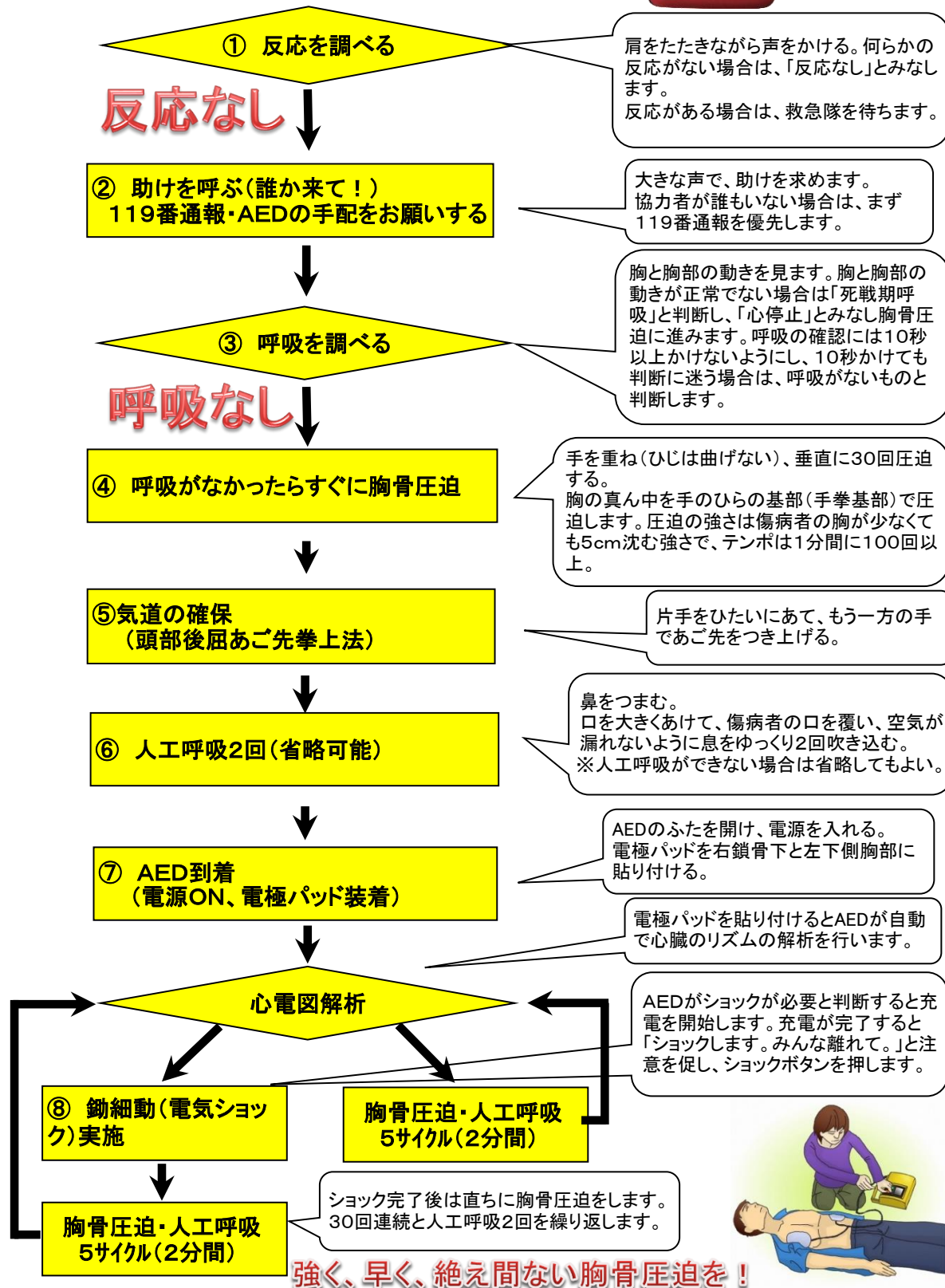
3 救命処置

AED設置場所

以下の手順を確認するとともに、心肺蘇生法及びAED講習会には必ず参加しましょう。



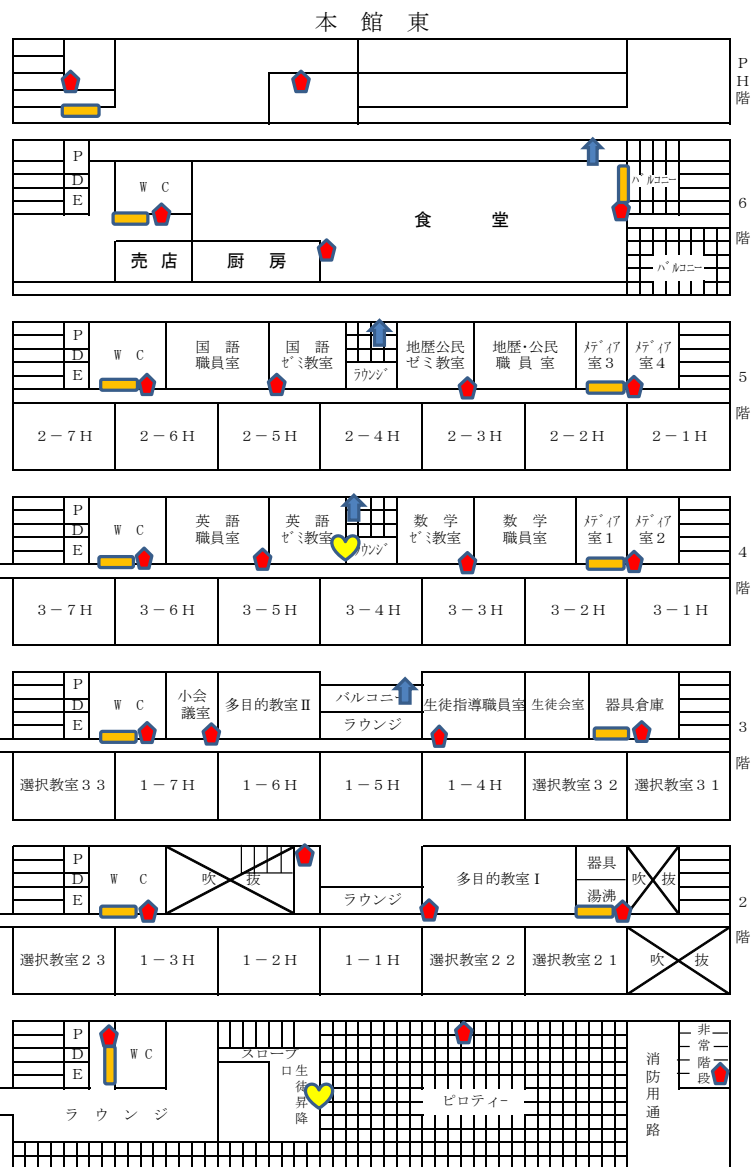
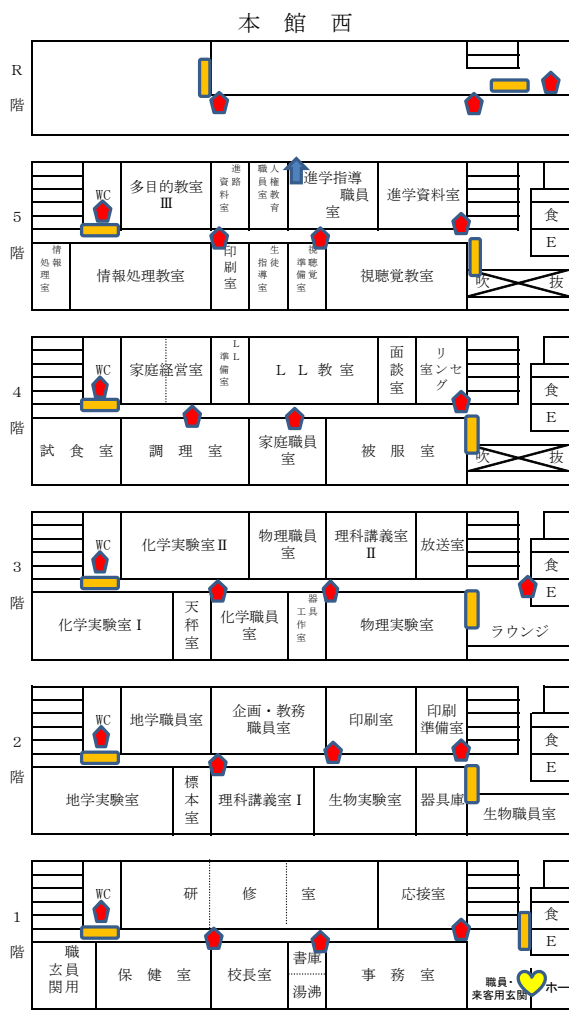
- ・正面玄関
- ・体育館



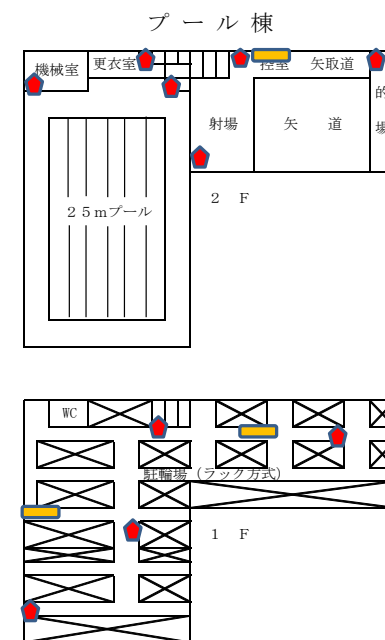
救急隊に引き継ぐまで、心肺蘇生法を継続します。AEDは装着したままにします。救急隊が到着すると、傷病者の状況、実施した応急手当、AEDのショック回数等を伝えます。

4 令和6年度消火設備等配置図

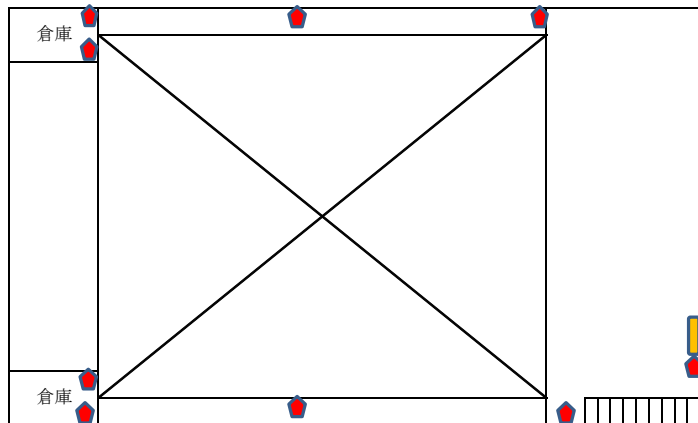
40



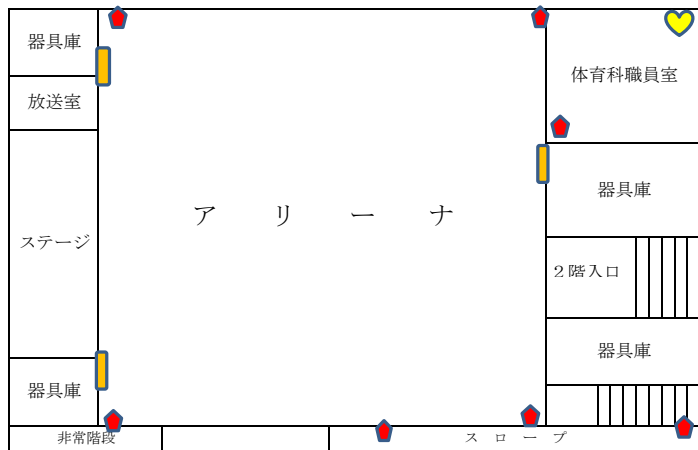
- : 消火器
- : 屋内消火栓
- : 緩降機
- : AED



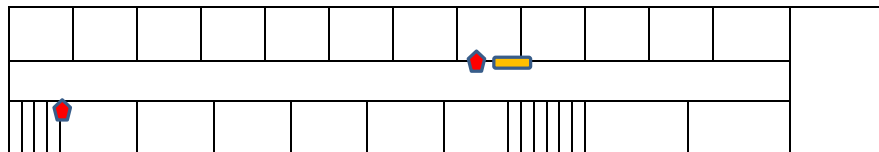
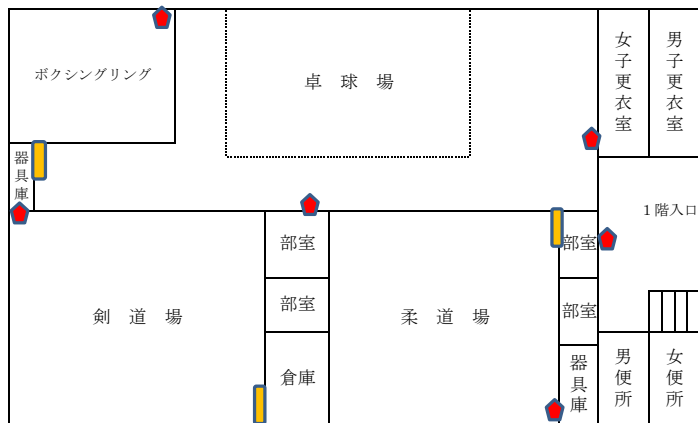
体育館3階



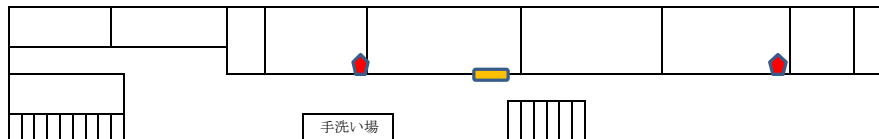
41
体育館2階



体育館1階

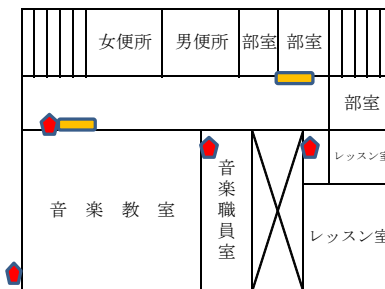


部室棟2階

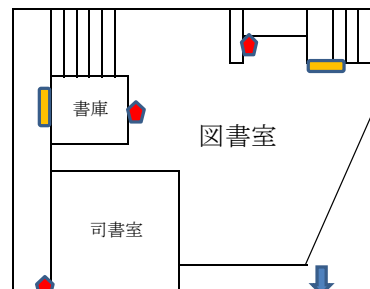


部室棟1階

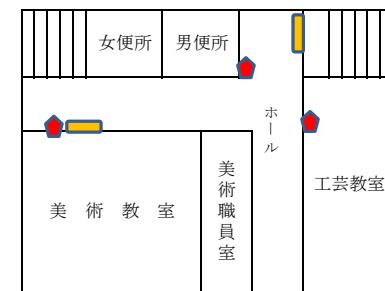
芸術棟2階



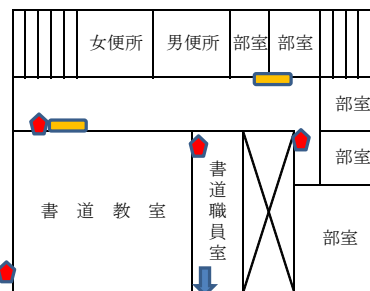
芸術棟4階



芸術棟1階



芸術棟3階



- ：消火器
- ：屋内消火栓
- ：緩降機
- ：AED

6 生徒安否確認表

生徒安否確認表(ホーム別)

年 H

記載者氏名

記入年月日		令和 年 月 日			記入時間	午前・午後		時	分
生徒数	性別	総数	登校している生徒数	登校していない生徒数	登校していない生徒の内訳				
					状況確認できた生徒数	不明生徒数			
	男								
	女								
	計								
被災者・不明者等の状況	番号	氏 名		被災状況等(重症・不明等)			措置状況等		
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								

生徒安否確認 集計表

記載者氏名

記入年月日		令和 年 月 日			記入時間	午前 ・ 午後		時	分
学年	ホーム	総数	登校している生徒数	登校していない生徒数	登校していない生徒の内訳		備 考		
					状況確認できた生徒数	不明生徒数			
1年	1-1								
	1-2								
	1-3								
	1-4								
	1-5								
	1-6								
	1-7								
2年	2-1								
	2-2								
	2-3								
	2-4								
	2-5								
	2-6								
	2-7								
3年	3-1								
	3-2								
	3-3								
	3-4								
	3-5								
	3-6								
	3-7								